

# MICRO CADAM Helix

## 実践操作解説書

### セットアップ・ガイド

2020年6月

株式会社CAD SOLUTIONS

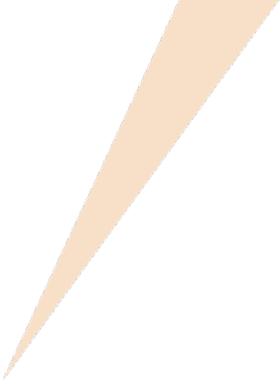


## 【スタンドアローン編】

- 第一章 MICRO CADAM Helix 20xx インストール手順
  - インストールの実行
  - ライセンスの設定
  - MICRO CADAM Helix 20xxの起動
  
- 第二章 ストロークフォント インストール手順
  - 漢字ストロークフォント（ベクターフォント）のインストール
  - 漢字ストロークフォント（CSCフォント）のインストール
  - 漢字ストロークフォントの環境設定
  
- 第三章 RPD Standalone インストール手順
  - インストールの実行
  
- 第四章 HD Tools インストール手順
  - インストールの実行（ノードロック・ライセンス版）
  - HD Tools（ノードロック・ライセンス版）の起動
  - インストールの実行（フローティング・ライセンス版）
  - HD Tools（フローティング・ライセンス版）の起動
  
- 第五章 MCライセンス・ツール インストール手順
  - インストールの実行
  - フローティング・ライセンスの設定
  - ライセンス内容確認（ライセンス・サーバー側）
  - クライアントの環境設定
  - ライセンス内容確認（クライアント側）

## 【ネットワーク編】

- 第一章 MICRO CADAM Helix Server インストール手順
  - インストールの実行
  - ライセンスの設定
  - ファイル・サーバーの環境設定
  - MICRO CADAM Helix Serverの起動
  - ファイル・サーバーへのアクセス確認
  
- 第二章 MICRO CADAM Helix RPD Server インストール手順
  - インストールの実行
  - プロット・サーバーの環境設定（概説）
  - プロット・サーバーの起動
  
- 第三章 MICRO CADAM Helix DDM-LT インストール手順
  - インストール（サーバー用）の実行
  - インストール（クライアント用）の実行
  - MICRO CADAM Helix DDM-LTの起動



# スタンドアローン編

## ■ 本資料の目的

- 本ガイドでは、MICRO CADAM Helix 20xx及びその関連製品をスタンドアローン環境でご利用になる場合の必要最低限のインストール手順について説明しています。詳細については、それぞれのマニュアルをご参照ください。

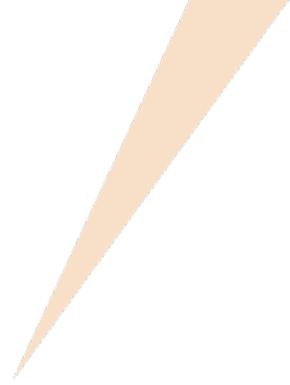
## ■ 前提条件

- このインストール手順は、DVDから実行することを前提に説明されています。ダウンロードから実行する場合でも手順はほぼ同等です。
- インストール・モジュールにはWindows版 MICRO CADAMの64bit版を使用しています。
- 画面イメージはWindows 10ですが、他のWindows OSでも同じ手順です。

## ■ 留意事項

- ノードロックライセンス環境の場合
  - ◆ 第一章・第二章及び第三章のノードロック・ライセンスの項を実行してください。
- フローティングライセンス環境の場合
  - ◆ 第一章・第二章・第四章及び第三章のフローティング・ライセンスの項を実行してください。

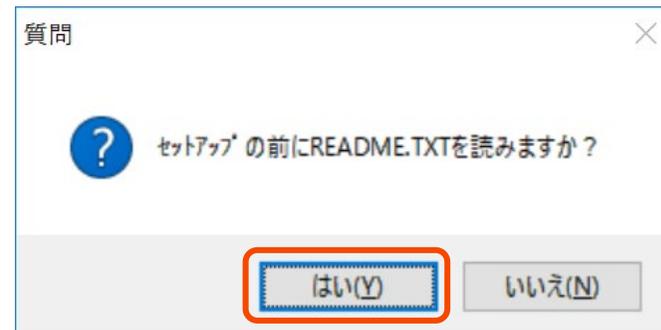
当資料の内容は、2018年8月時点（MICRO CADAM Helix 2018R3）の機能をベースに記述しております。今後の機能改善・追加によっては記述内容が変更される場合があります。



# 第一章 MICRO CADAM Helix 20xx インストール手順

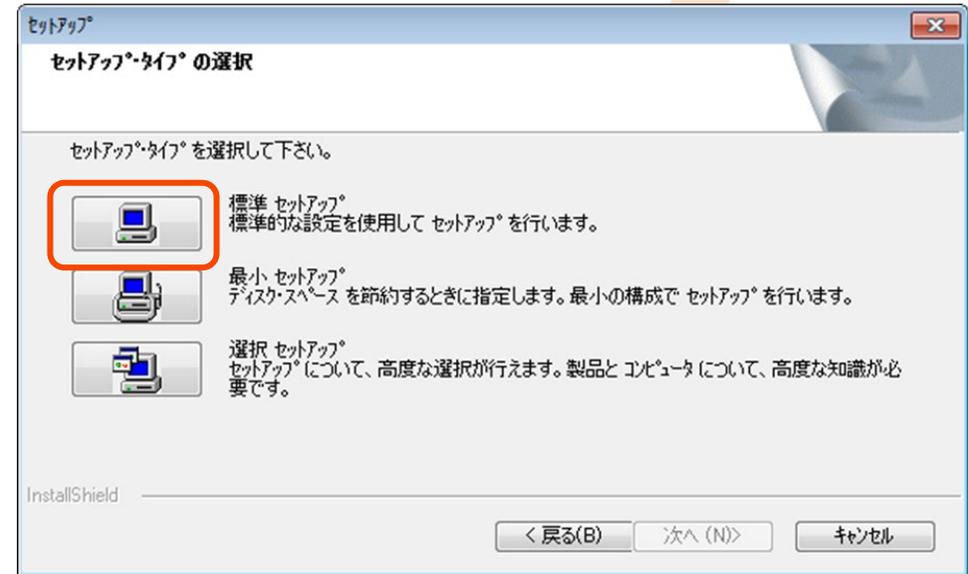
# 【インストールの実行】

1. DVDの下記のフォルダーからsetup.exeを実行します。
  - Win64 → hdd → setup.exeをダブルクリック
2. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
3. [次へ(N)] をクリックします。
4. 「質問」メッセージボックスが表示されるので、  
[はい(Y)] をクリックしてREADMEをお読みください。
5. 読み終わった後、テキストエディターを終了してください。



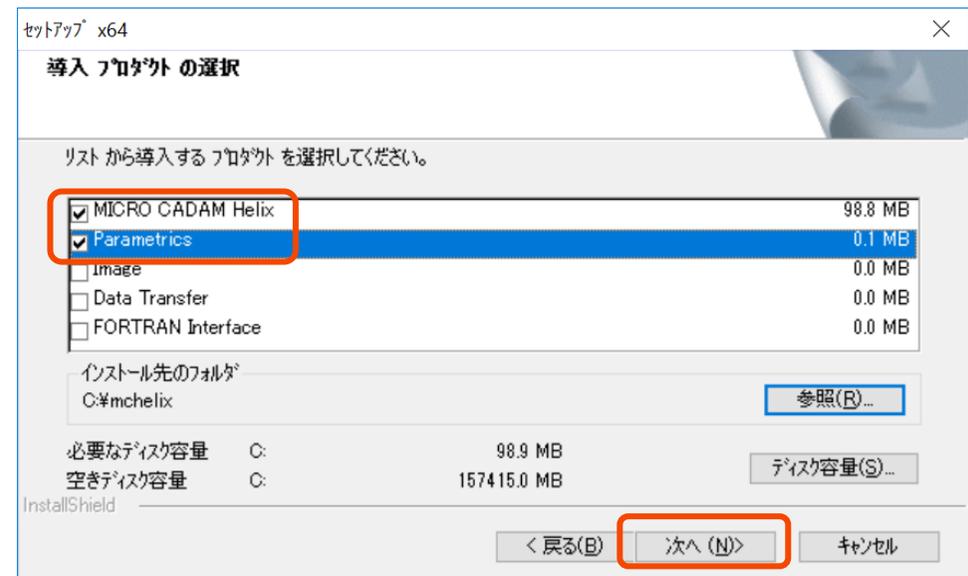
6. セットアップ・タイプを選択します。

- [標準セットアップ] ボタンをクリックします。

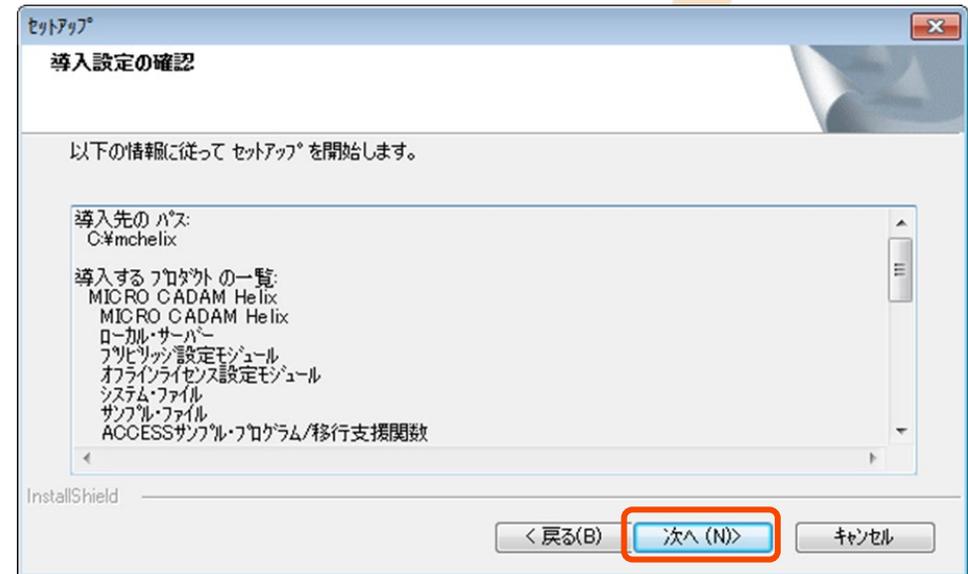


7. 導入プロダクトおよびインストール先のフォルダを指定します。

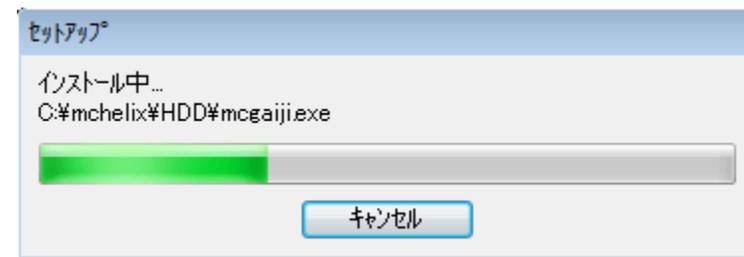
- [MICRO CADAM Helix] および [Parametrics] をチェックします。
- [次へ(N)] をクリックします。



8. 表示されている内容でよければ、[次へ(N)] をクリックします。

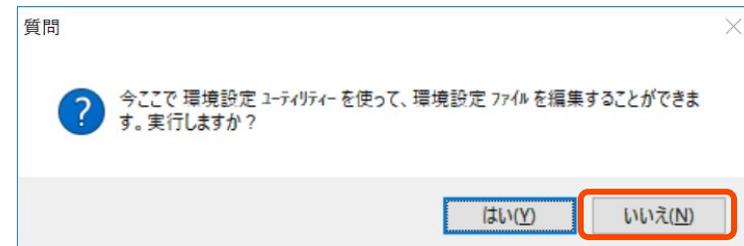


9. インストールが開始します。

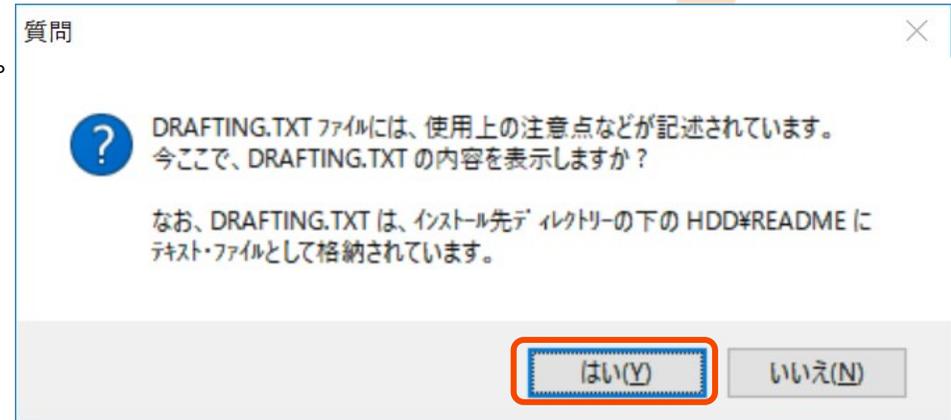


10. モジュールのコピーが終わると、「質問」メッセージボックスが表示されます。[はい(Y)] をクリックすると、環境設定ユーティリティを起動させて設定することができます。

- ここでは、[いいえ(N)] をクリックして導入後に、設定することにします。



- 11.再度、「質問」メッセージボックスが表示されるので、  
 [はい(Y)] をクリックして使用上の注意をお読みください。  
 読み終えた後、テキストエディターを終了してください。

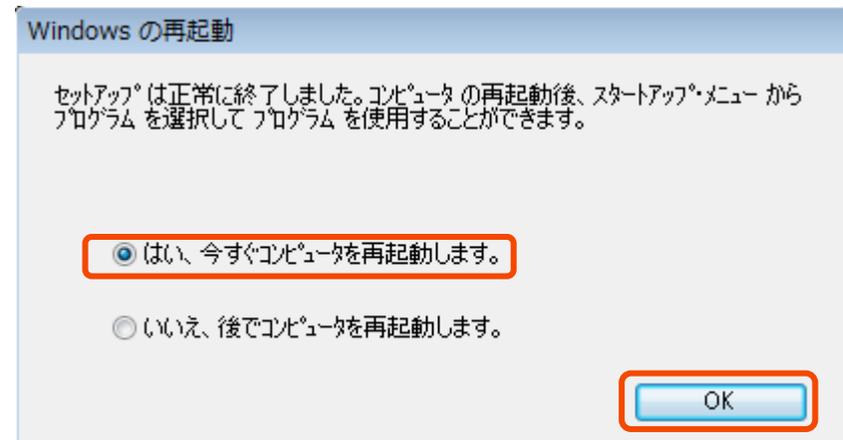


- 12.システムを再起動します。

- [○はい、今すぐコンピュータを再起動します。]  
 を選択し、[OK] をクリックします。

- 13.システムが再起動されます。

- これでMICRO CADAM Helixのインストールは完了  
 です。

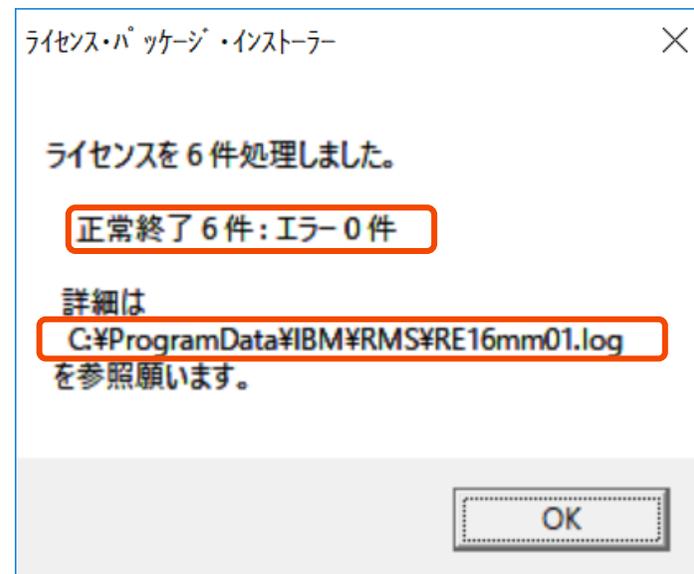


(参考)

1. MICRO CADAM Helix 20xxの操作については、  
 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダ内の  
『操作解説書』をご参照ください。
2. MICRO CADAM Helix 20xxの環境設定については、  
 MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダ内の『ご  
 使用のまえに』及び『管理・運用解説書』をご参照く  
 ださい。

1. コンピューターには管理者 (Administrator) 権限でログインしておきます。
2. 「ライセンス・パスワード申請書」に基づき、管理者様に送付されたメールに添付されているライセンス・パッケージ・ファイル (~.mll) を、MICRO CADAMをインストールしているコンピューターの任意のフォルダに保存します。
3. Windowsエクスプローラーで、コンピューターにコピーしておいたライセンス・パッケージ・ファイルをダブルクリックします。
  - フローティング・ライセンスの設定には、あらかじめMCライセンス・ツールを導入したライセンスサーバーの設定が必要です。(第四章参照)
  - 登録が完了すると、メッセージ・ボックスに登録結果が表示されます。
  - ライセンスファイルにあらかじめ登録されているロッキングコードと、MICRO CADAMがインストールしているコンピューターのロッキングコードが合致しているライセンスに対して、正常終了扱いになります。合致しない場合は無視されます。
  - 処理結果の詳細については、メッセージ・ボックスに記載されているログ・ファイル (logファイル) をご確認ください。

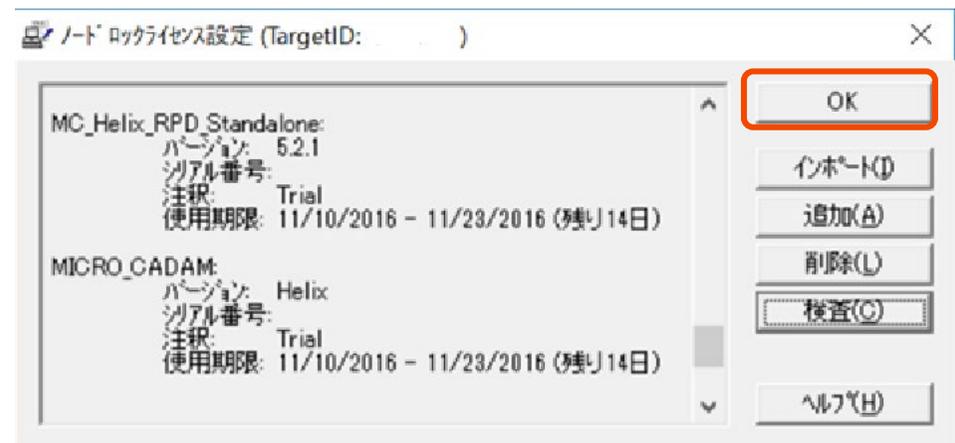
## 実行例

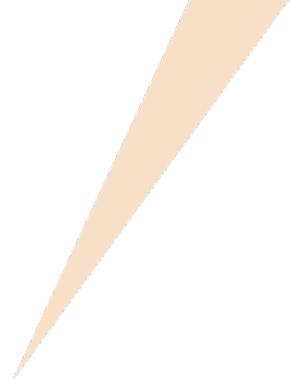


4. 登録したライセンスを確認します。
  - 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダから、「ノードロックライセンス設定モジュール」アイコンをクリックして起動します。
5. [検査(C)] をクリックします。



6. 3. で導入したライセンスが表示されていることを確認してください。モジュール名として右図のように表示されています。
  - 製品名が表示されます。
  - [OK] で終了します。

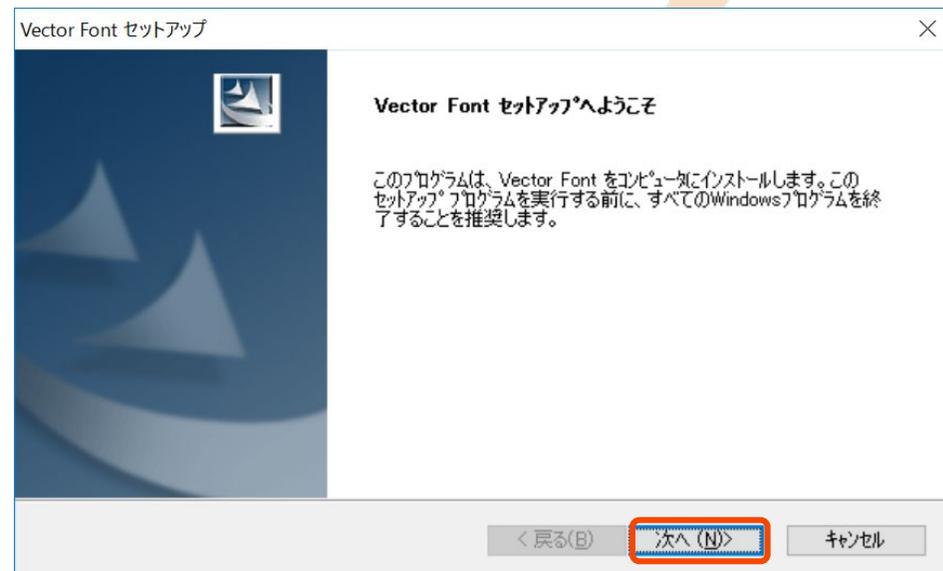




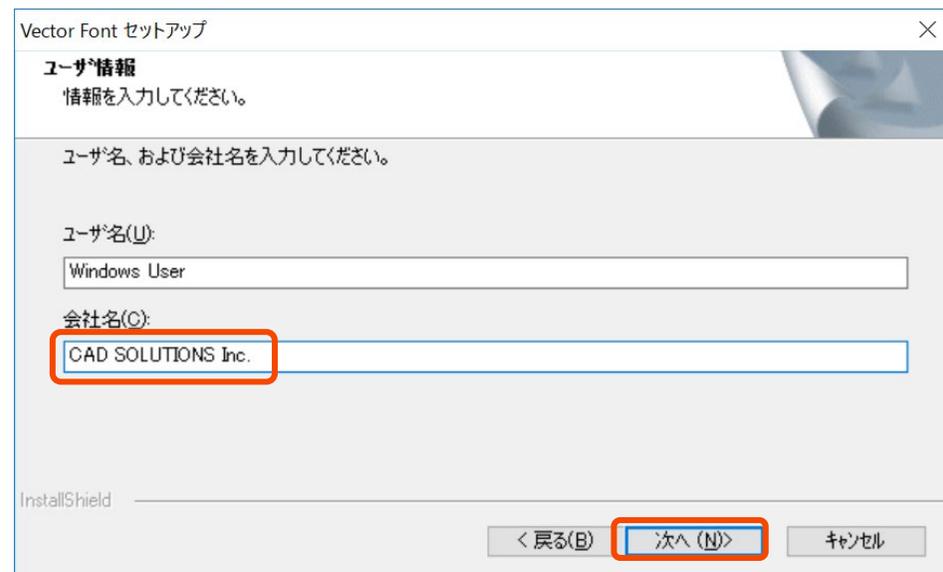
## 第二章 ストロークフォントの インストール手順

(注) 本製品は製品のDVDには含まれておりません。  
オプション製品として別途販売されておりますので、入手方法については販売店様にご相談ください。

1. インストールメディアからsetup.exeを実行します。
  - Font → vssfnt → setup.exeをダブルクリック
2. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
3. [次へ(N)] をクリックします。



4. ユーザー名、会社名を入力します。
5. [次へ(N)] をクリックします。



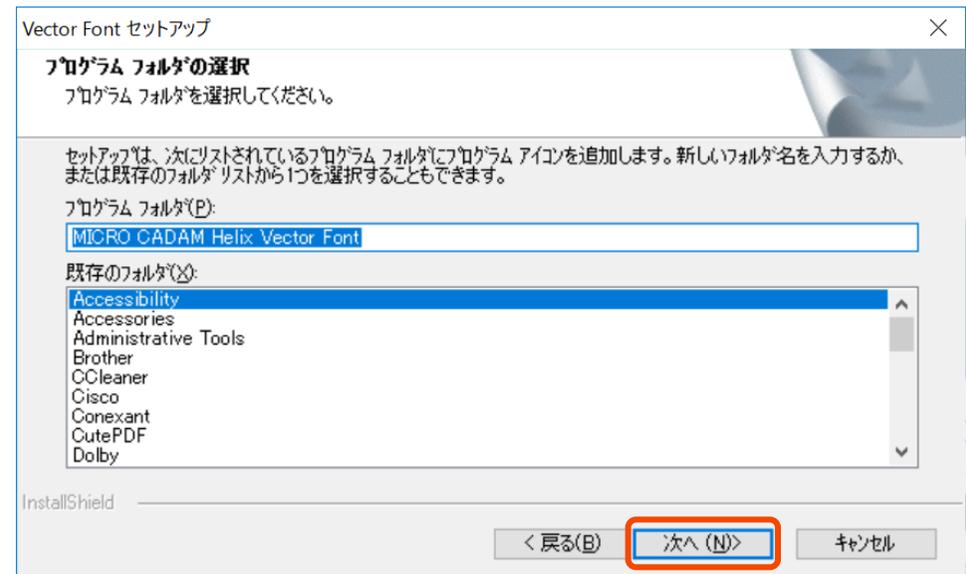
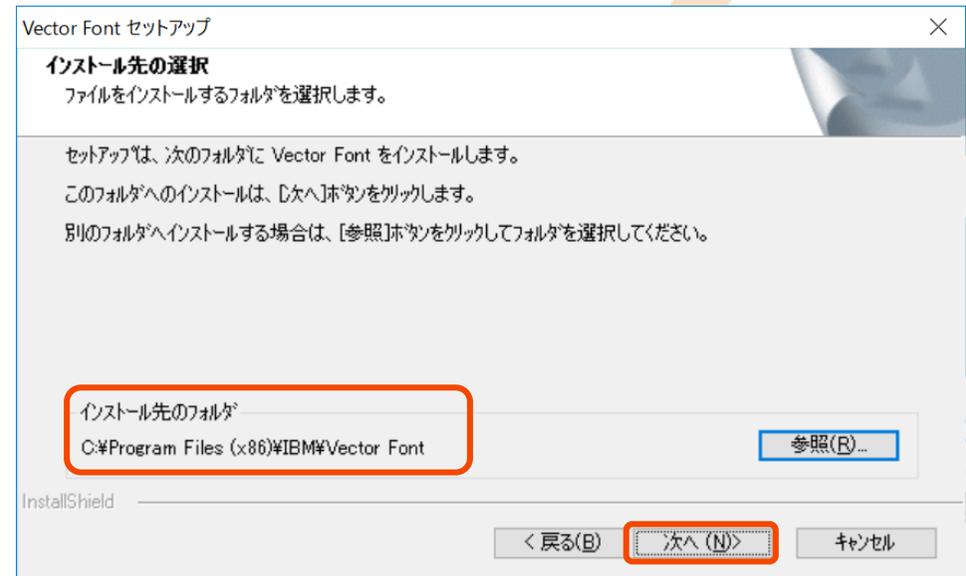
6. インストール先のフォルダを指定します。
  - ベクターフォントのインストール先フォルダが表示されています。
  - ここでは、表示と同じフォルダーにインストールします。

7. [次へ(N)] をクリックします。

8. プログラム・フォルダを選択または任意の名前を入力します。

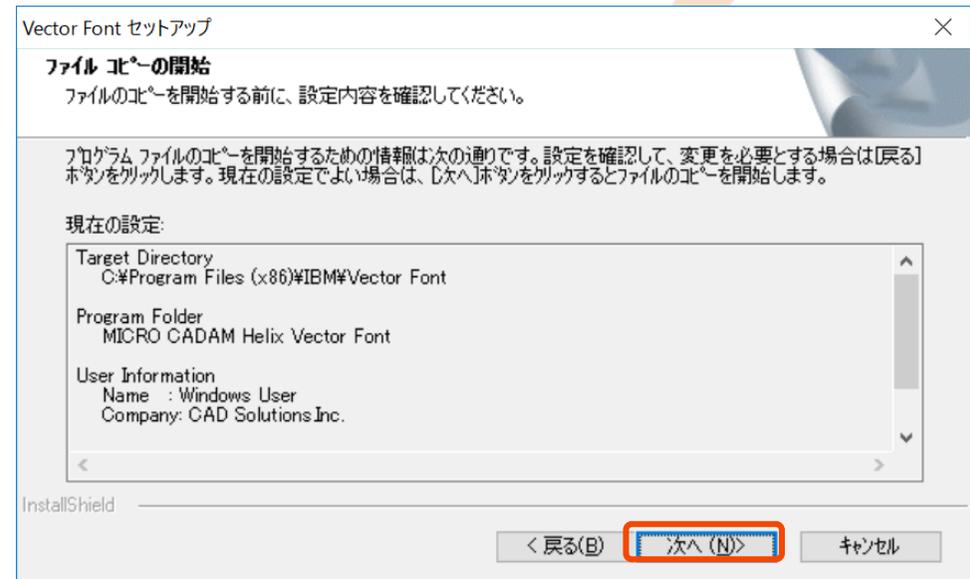
- ここではデフォルトのままとします。

9. [次へ(N)] をクリックします。



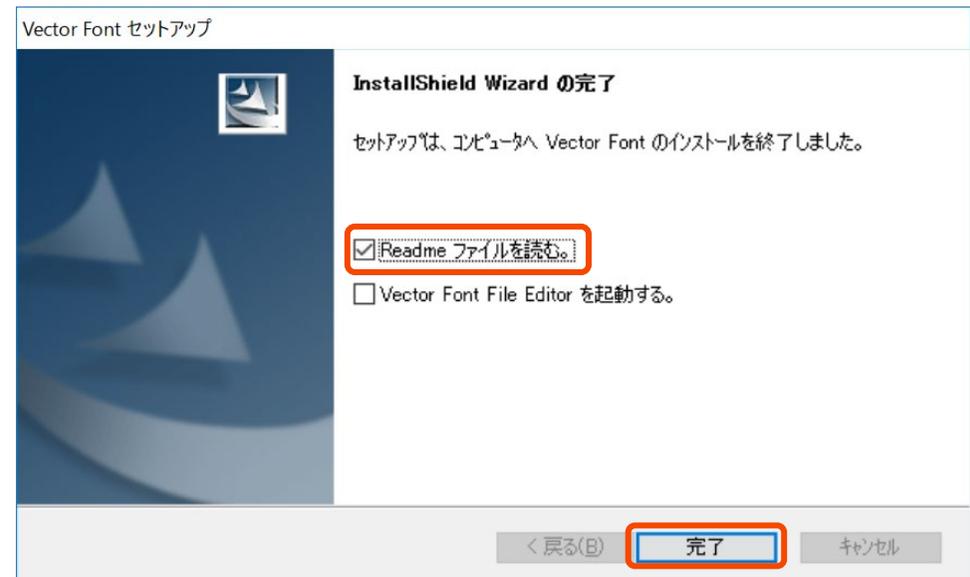
10. 導入内容を確認します。

11. [次へ(N)] をクリックします。

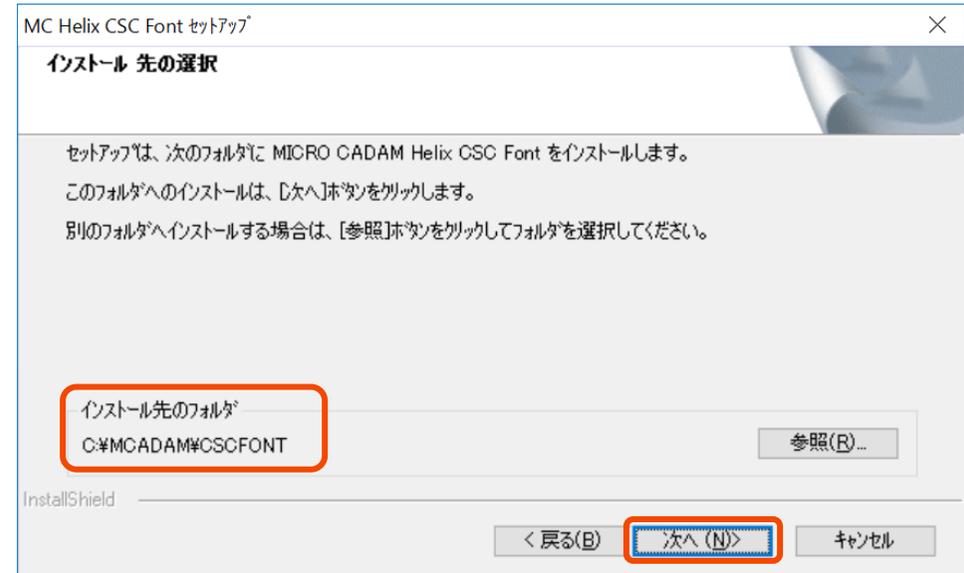


12. [Readmeファイルを読む。] をチェックし、[完了] をクリックしてください。

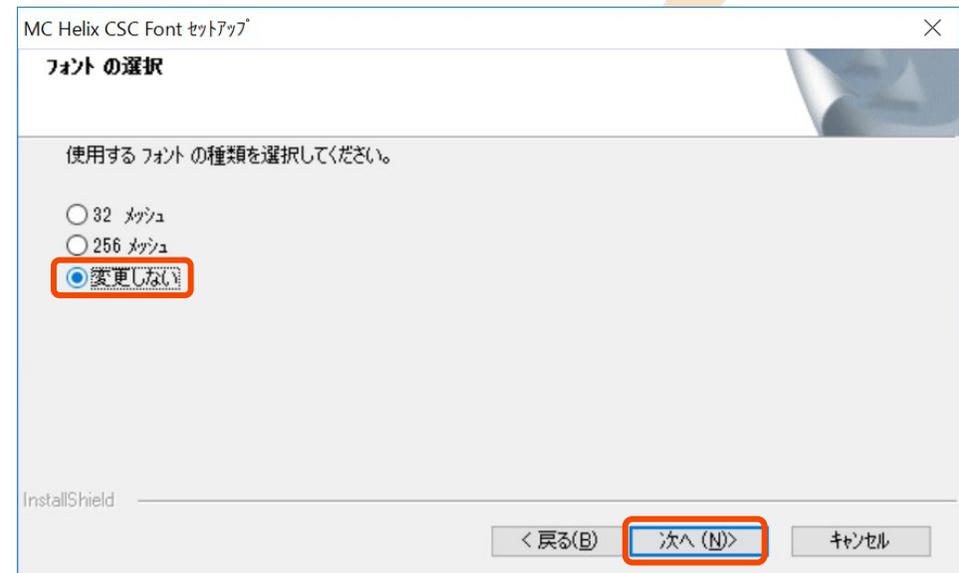
13. Readmeを読み終えた後、テキストエディターを終了してください。



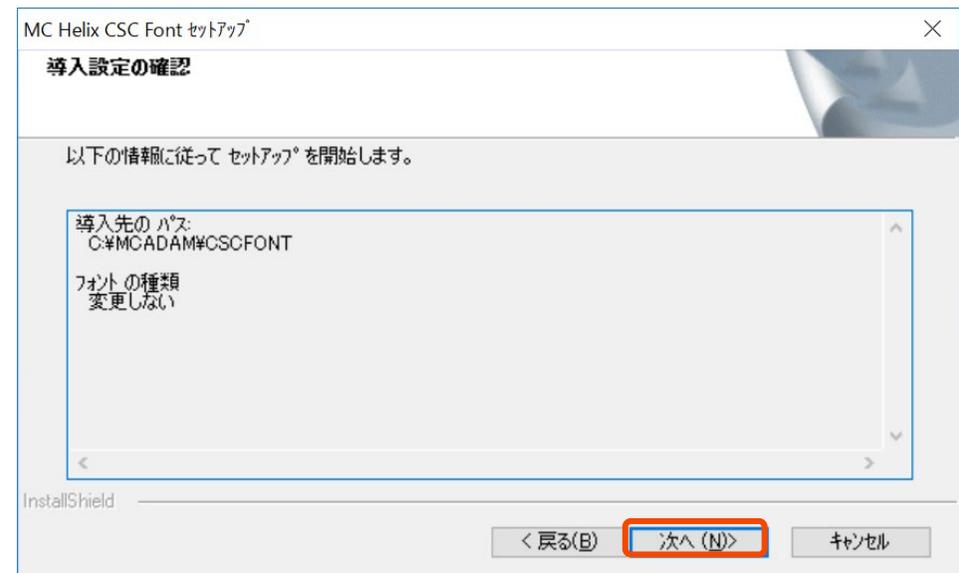
1. インストールメディアからsetup.exeを実行します。
  - Font → cscfont → Windows → cscfont → setup.exeをダブルクリック
2. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
3. [次へ(N)] をクリックします。
  
4. インストール先のフォルダを指定します。
  - CSCフォントのインストール先フォルダが表示されています。
  - ここでは、表示と同じフォルダーにインストールします。
5. [次へ(N)] をクリックします。



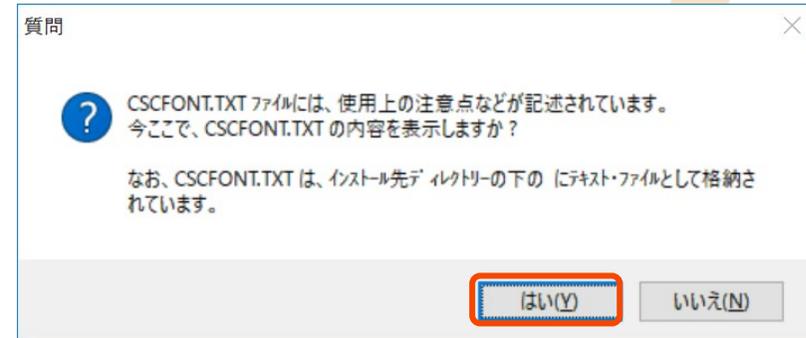
6. フォントの種類を選択します。
  - ここではデフォルトのままとします。
7. [次へ(N)] をクリックします。



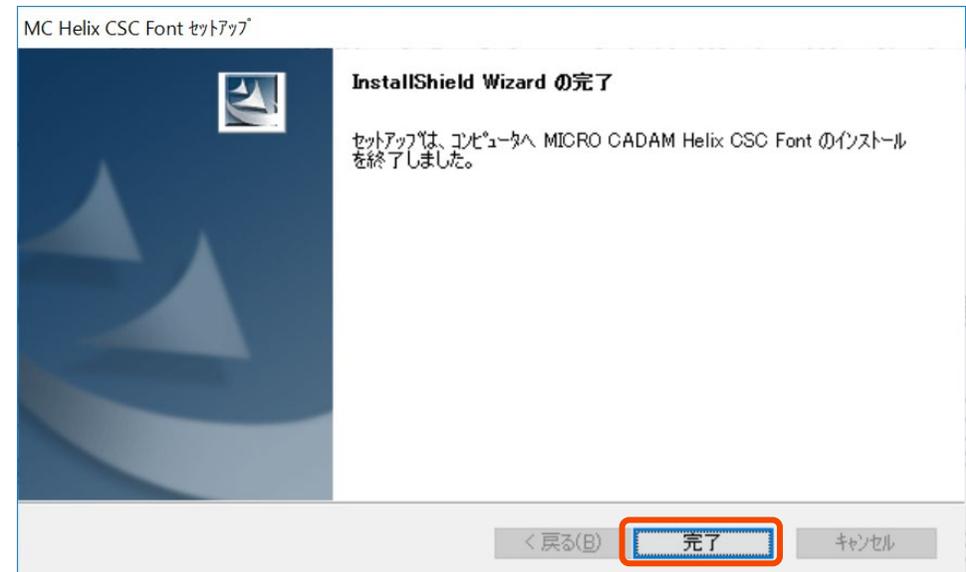
8. 導入内容を確認します。
9. [次へ(N)] をクリックします。



10. 「質問」メッセージボックスが表示されるので、  
[はい(Y)] をクリックして使用上の注意をお読みください。
11. 読み終わった後、テキストエディターを終了してください。

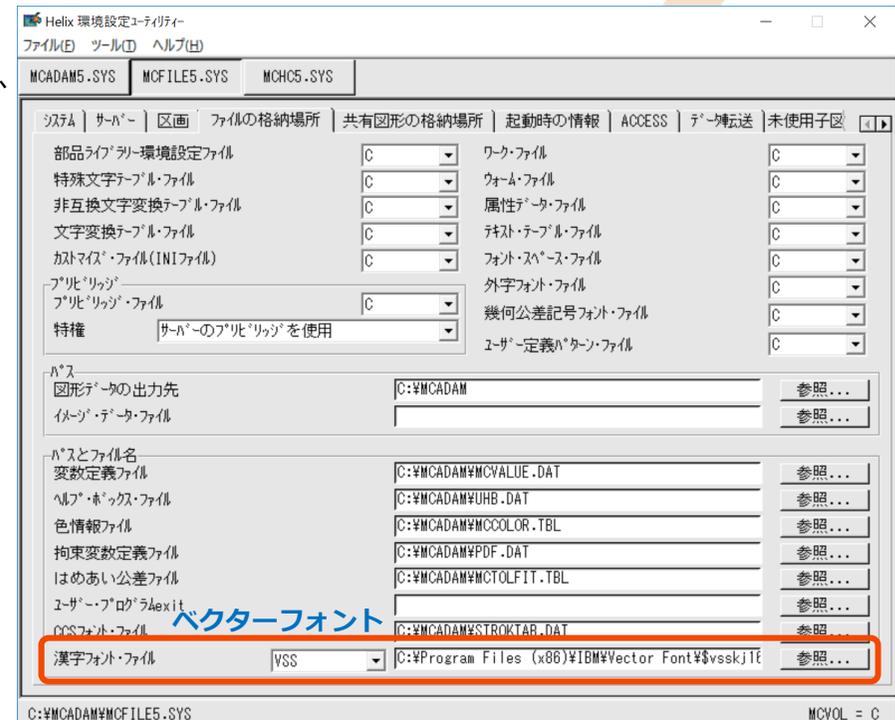


12. [完了] をクリックしてください。
  - これでCSCフォントのインストールは終了です。



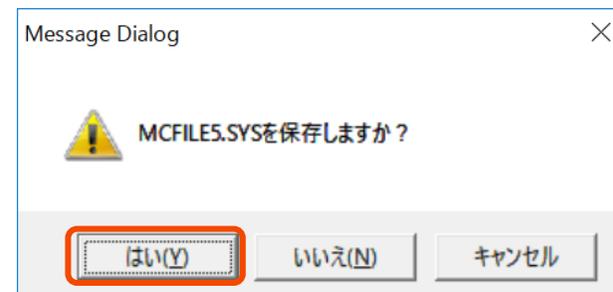
## 1. ベクターフォントの環境設定

- 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダから、「環境設定ユーティリティー」アイコンをクリックして起動します。
- 「MCFILE5.SYS」をクリックし、[ファイルの格納場所] シートをクリック。
- 右図の赤枠内で、\$VSSKJ16.fntファイルの保存先を指定します。  
(P-11の6.で指定したフォルダーです)
- [ファイル] → [終了]
- Message Dialogの [はい] で編集結果を保存してユーティリティーを終了します。



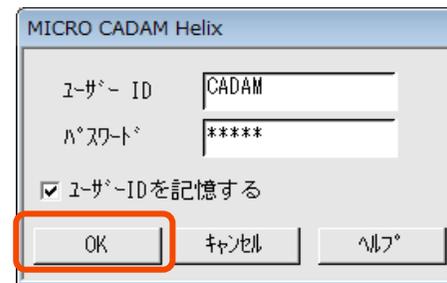
## 2. CSCフォントの環境設定

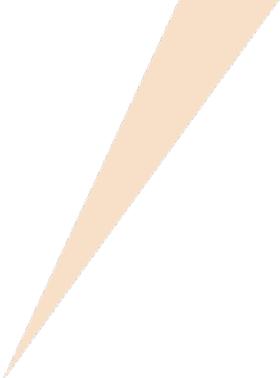
- 右図の赤枠内で、CSCファイルの保存先を指定します。  
(P-13の4.で指定したフォルダーです)
- その他はベクターフォントの場合と同じです。



1. 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダから、「MICRO CADAM Helix」アイコンをクリックして起動します。
  - 漢字ストロークフォントが設定されていないと右のダイアログが表示されます。
  - 右のMessage Dialogが表示されますが、【はい(Y)】をクリックして2. に進みます。
2. ログインします。
  - 以下のユーザーIDとパスワードを入力します。
    - ユーザーID : CADAM
    - パスワード : CADAM
  - 【OK】をクリックします。
3. 最初に開くドライブ、グループ、ユーザーを選択し、【OK】をクリックします。

(例) 区画 : C  
グループ : CAD  
ユーザー : TRAIN
4. MICRO CADAM Helix 20xxが起動します。





# 第三章 MICRO CADAM Helix RPD Standalone インストール手順

# 【インストールの実行】

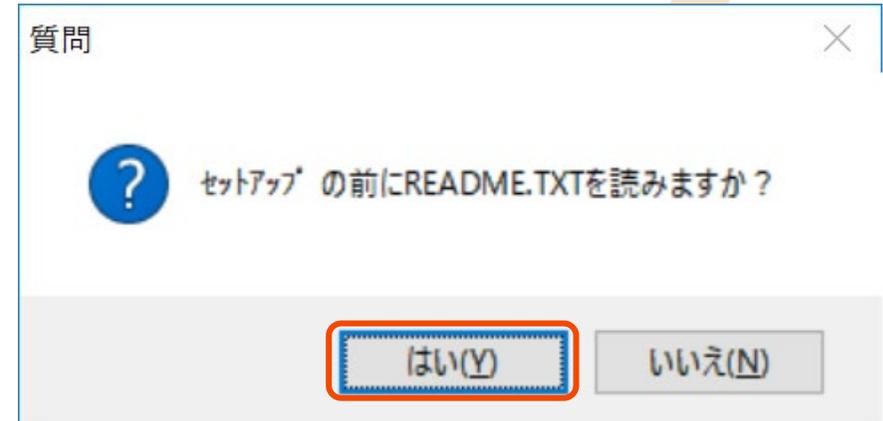
1. DVDの下記のフォルダーからsetup.exeを実行します。
  - Win64 → rpd → setup.exeをダブルクリック
2. 「質問」メッセージボックスが表示された場合、  
[はい(Y)] をクリックしてください。



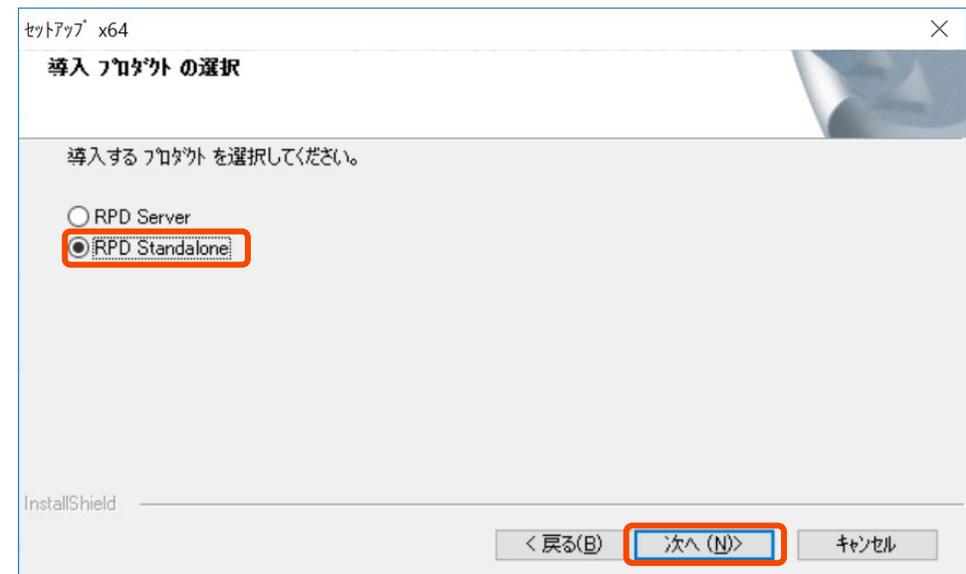
3. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
4. [次へ(N)] をクリックします。



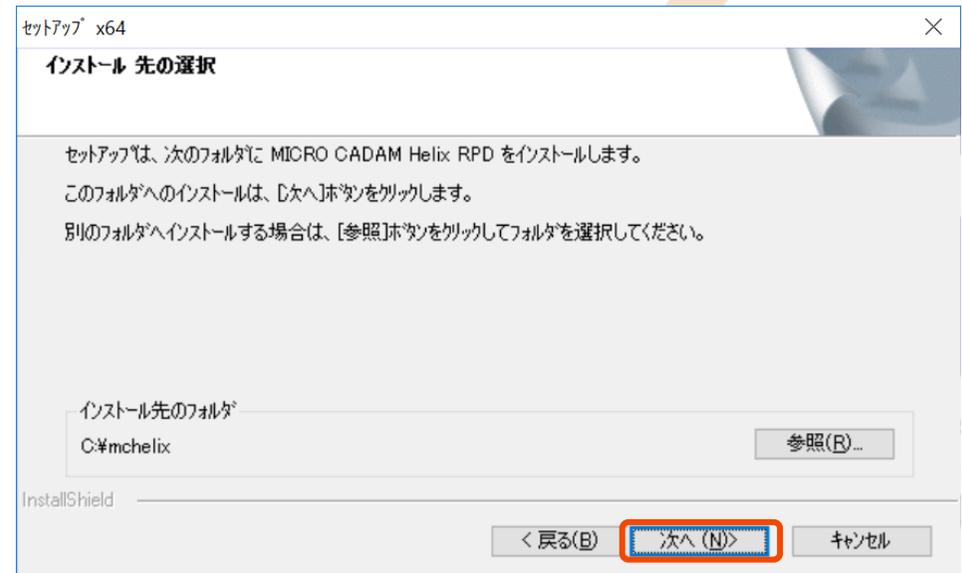
5. 「質問」メッセージボックスが表示されるので、  
[はい(Y)] をクリックしてREADMEをお読みください。
6. 読み終わった後、テキストエディターを終了してください。



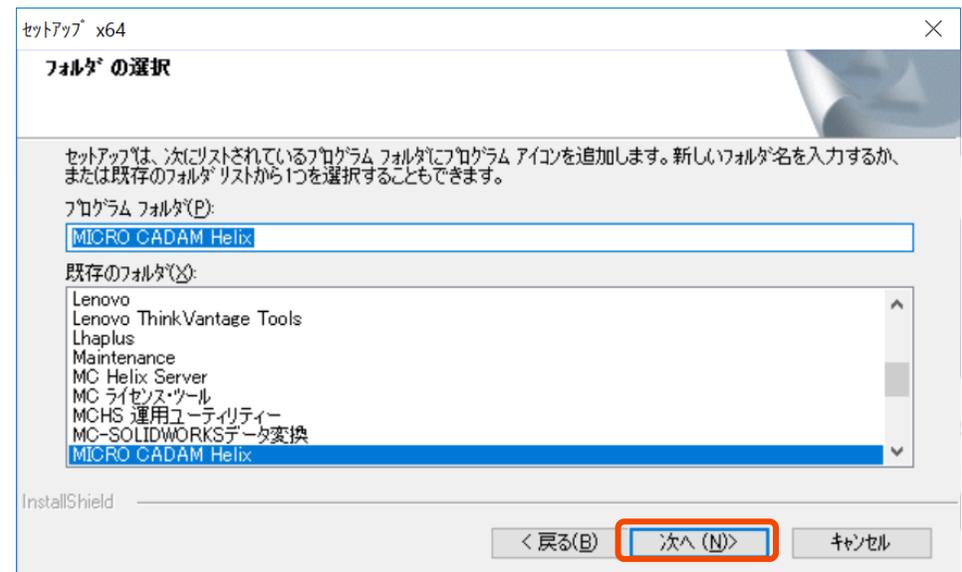
7. 導入プロダクトおよびインストール先のフォルダを指定します。
  - [ORPD Standalone] をチェックします。
8. [次へ(N)] をクリックします。



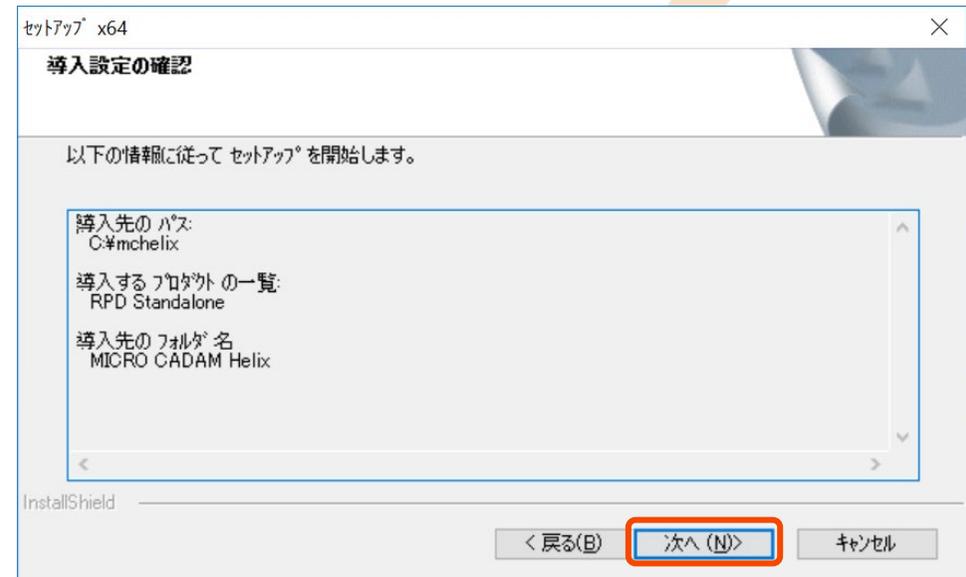
9. インストール先のフォルダを指定します。
  - ここでは、表示と同じフォルダーにインストールします。
10. [次へ(N)] をクリックします。



11. フォルダを選択または任意の名前を入力します。
  - ここではデフォルトのままとします。
12. [次へ(N)] をクリックします。

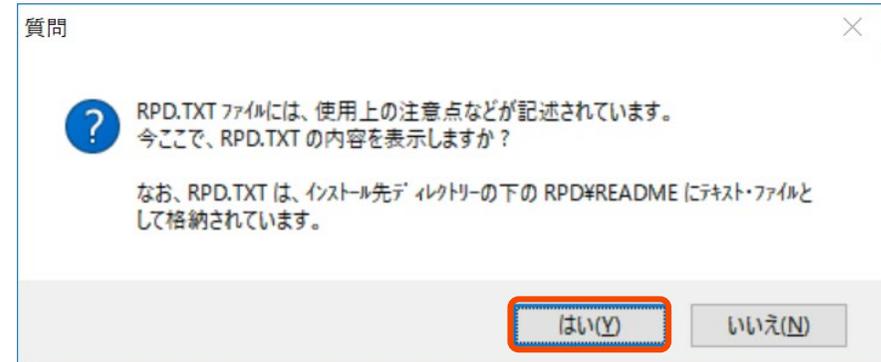


13.表示されている内容でよければ、【次へ(N)】をクリックします。



14.インストールが開始します。

15.「質問」メッセージボックスが表示されるので、【はい(Y)】をクリックして使用上の注意をお読みください。読み終わった後、テキストエディターを終了してください。

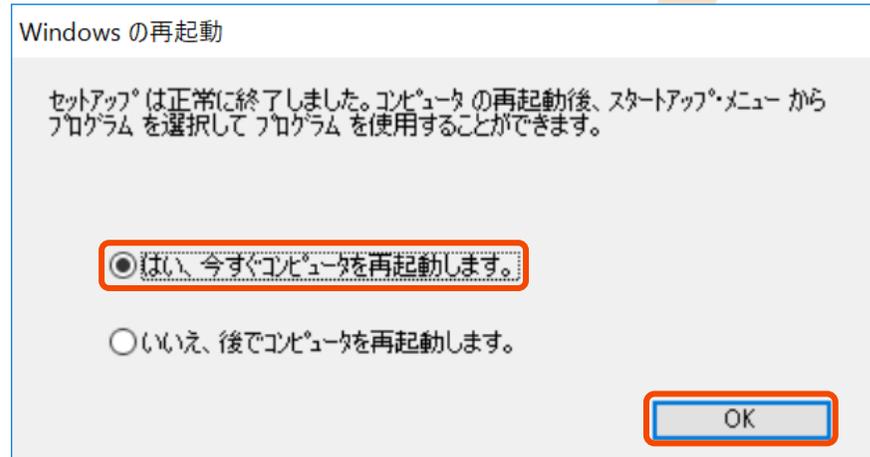


16.システムを再起動します。

- [○はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、 [OK] をクリックします。

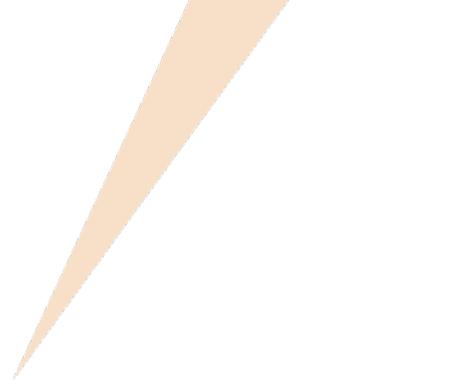
17.システムが再起動されます。

- これでMICRO CADAM Helixのインストールは完了です。



(参考)

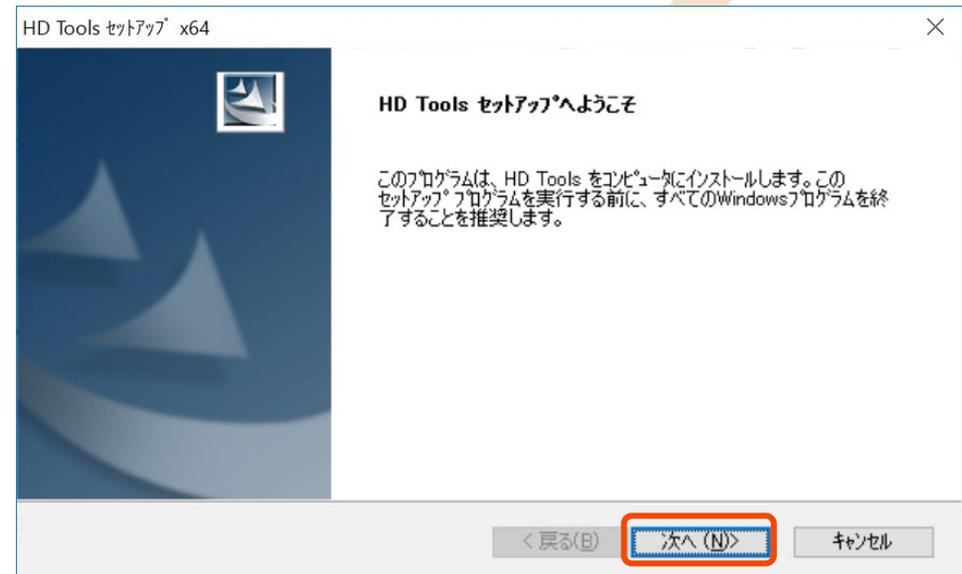
出力設定関連については、「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダ内の『管理・運用解説書（第四章 図面の出力）』及び『ラスタ・プロッター・ドライバー解説書』をご参照ください。



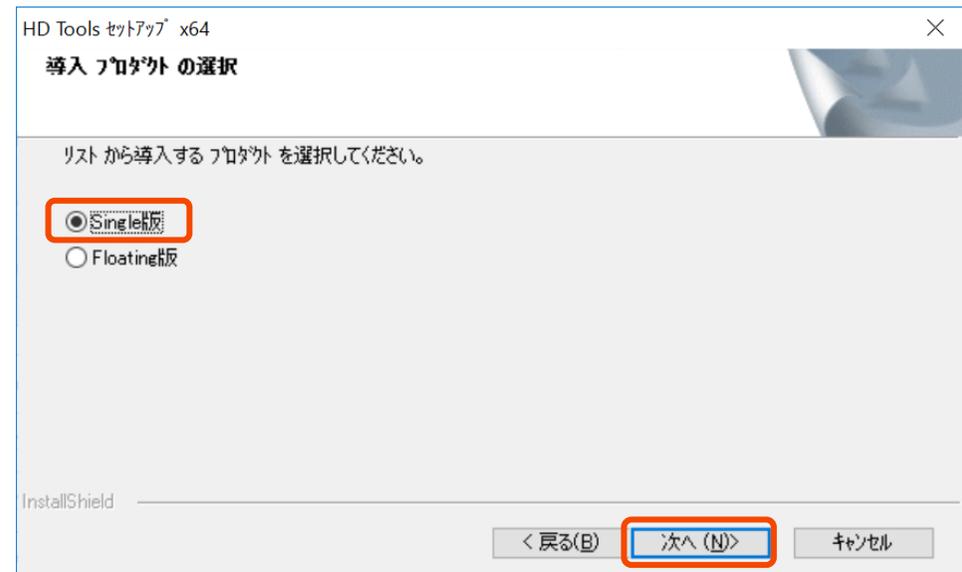
# 第四章 HD Tools インストール手順

# 【インストールの実行（ノードロック・ライセンス版）】

1. DVDの下記のフォルダーからsetup.exeを実行します。
  - Win64 → tools → setup.exeをダブルクリック
2. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
3. [次へ(N)] をクリックします。



4. [○Single版] を選択し、[次へ(N)] をクリックします。



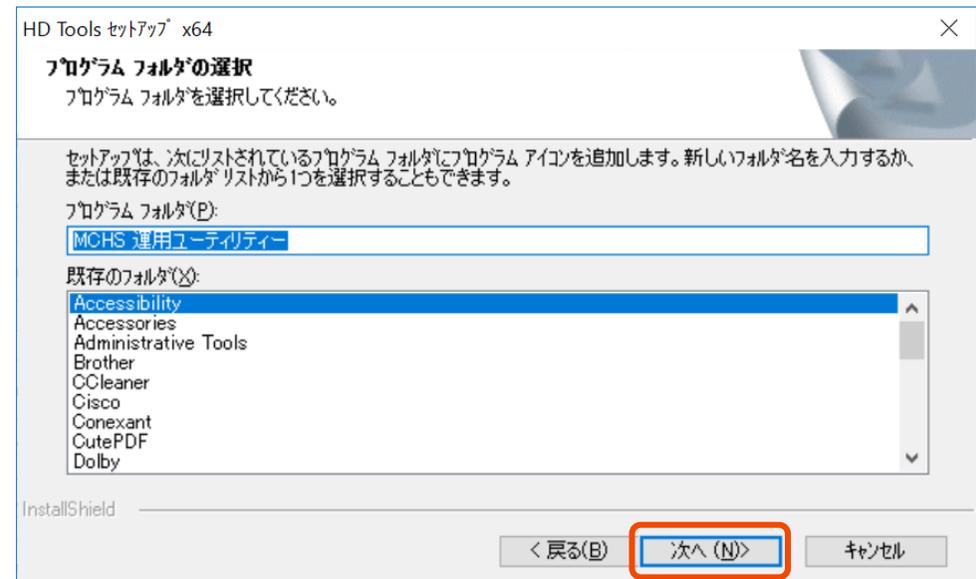
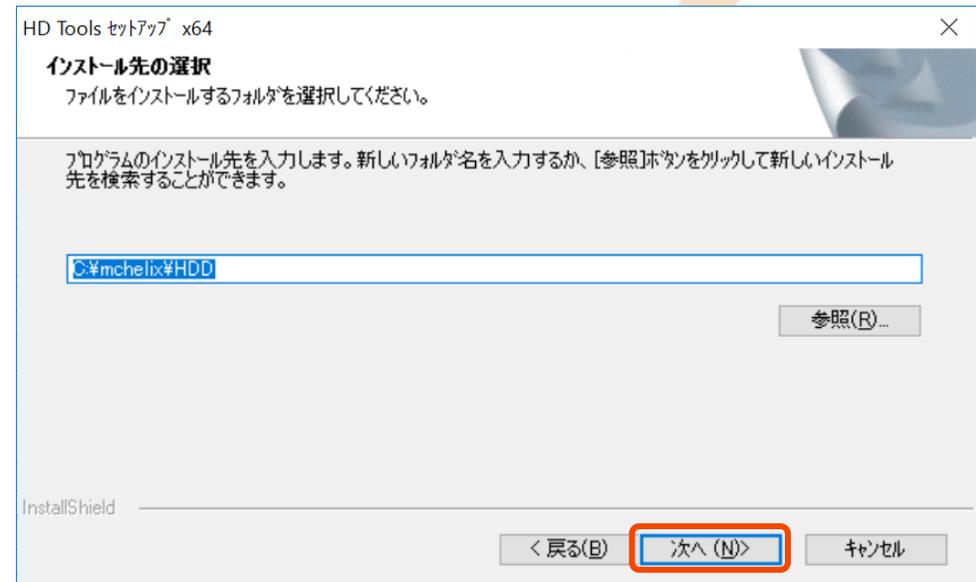
5. インストール先のフォルダを指定します。
  - MICRO CADAM Helixのインストール先フォルダが表示されています。
  - ここでは、MICRO CADAM Helixと同じフォルダにインストールします。

6. [次へ(N)] をクリックします。

7. プログラム・フォルダを選択または任意の名前を入力します。

- ここではデフォルトのままとします。

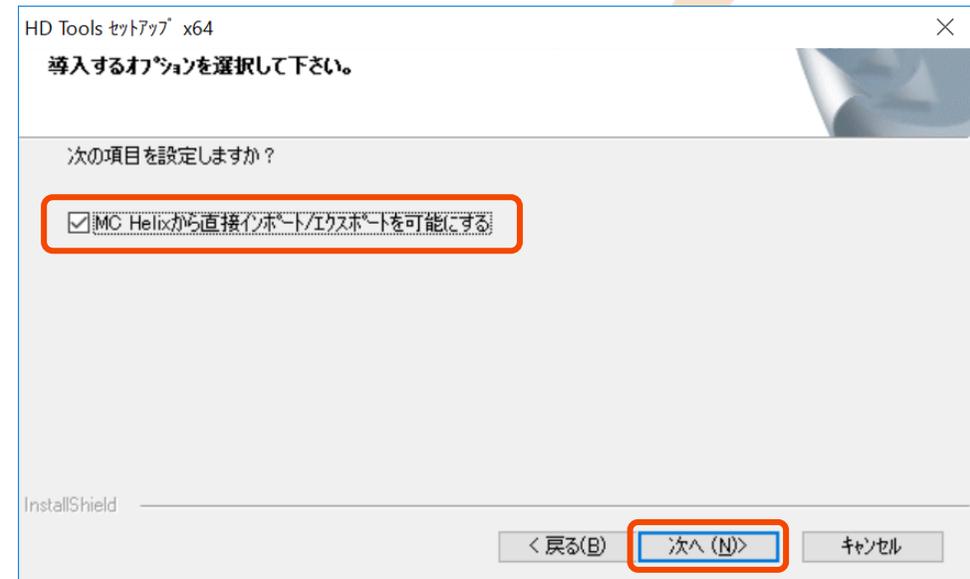
8. [次へ(N)] をクリックします。



9. オプションを指定します。

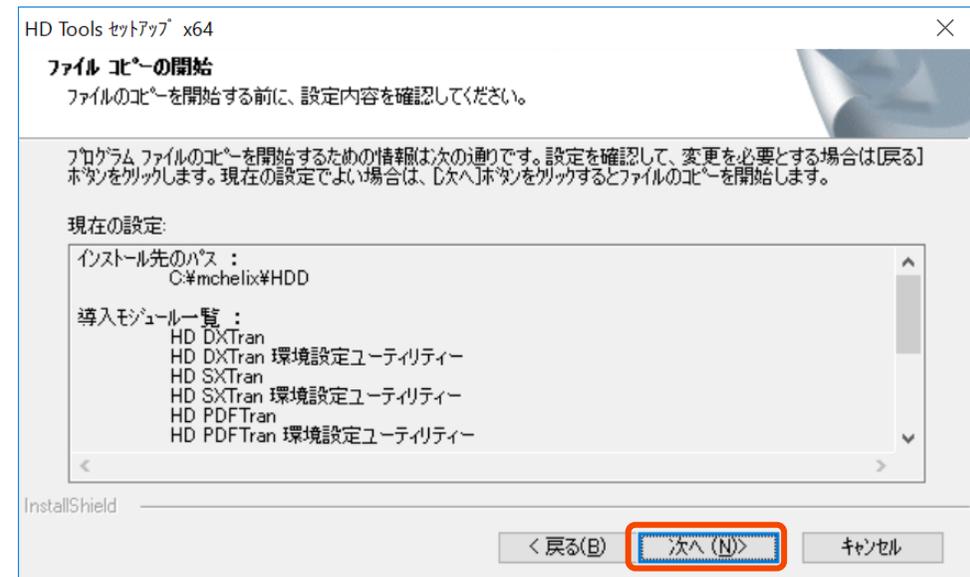
- MICRO CADAM Helix 上で直接変換処理を行う場合は、[MC Helixから直接インポート/エクスポートを可能にする] をチェックします。

10. [次へ(N)] をクリックします。

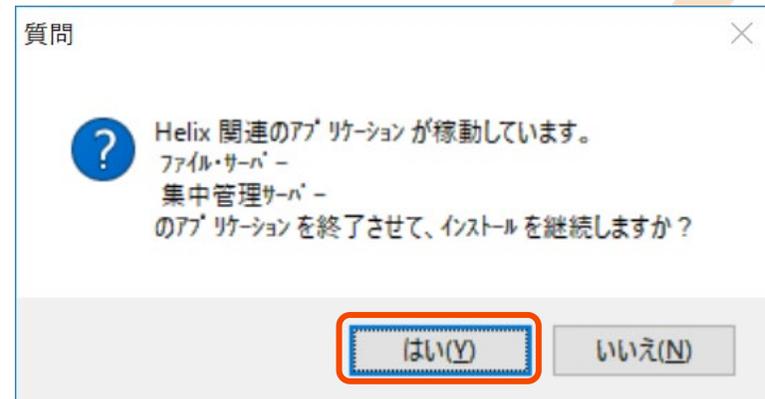


11. 導入内容を確認します。

12. [次へ(N)] をクリックします。



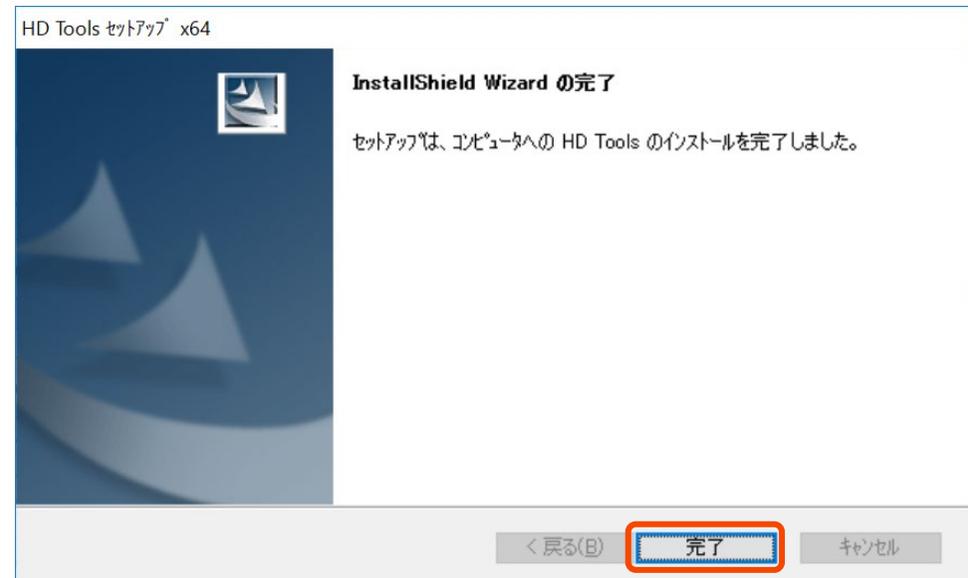
13. 「質問」メッセージボックスが表示された場合、  
[はい(Y)] をクリックします。



14. インストールが開始し、終了すると右図のダイアログ・  
ボックスが表示されます。

15. [完了] をクリックします。

➤ HD Toolsのインストールは完了しました。



(参考)

HD Tools Nodelock版の操作及び環境設定については、  
「MCHS 運用ユーティリティー」プログラム・フォルダ内  
の『HD Tools解説書』をご参照ください。

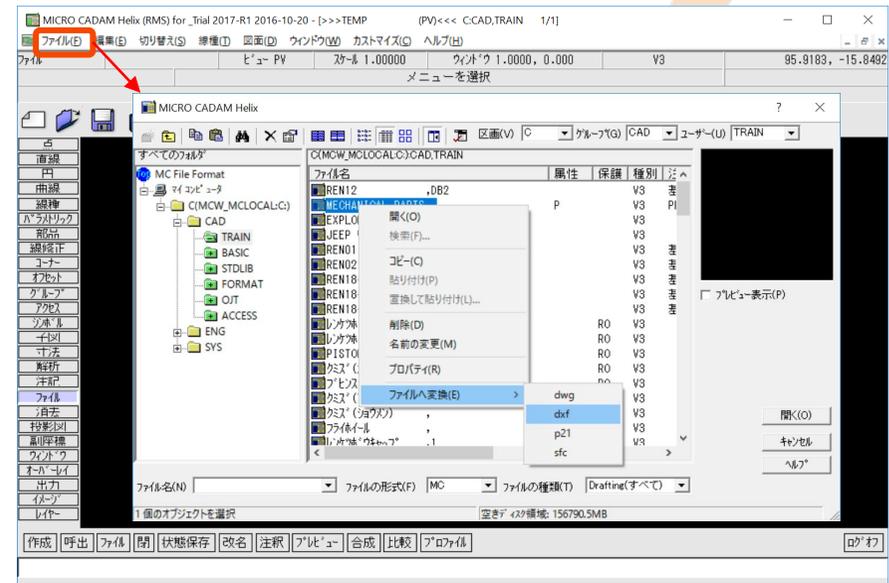
会話形式でHD Toolsを起動する場合、以下の方法があります。

## 1. Helixエクスプローラー（図面一覧ウィンドウ）から直接変換する

- MICRO CADAM HelixのHelixエクスプローラーから直接起動し、ダイアログ・ボックスで変換します。
- 操作
  - メニューバー [ファイル(F)] → [呼び出し(A)] でHelixエクスプローラーが開きます。
  - ファイルをマウスで右クリックすると、変換先の拡張子が表示されます。
  - 任意の拡張子を選択すると、変換用ダイアログが表示されます。

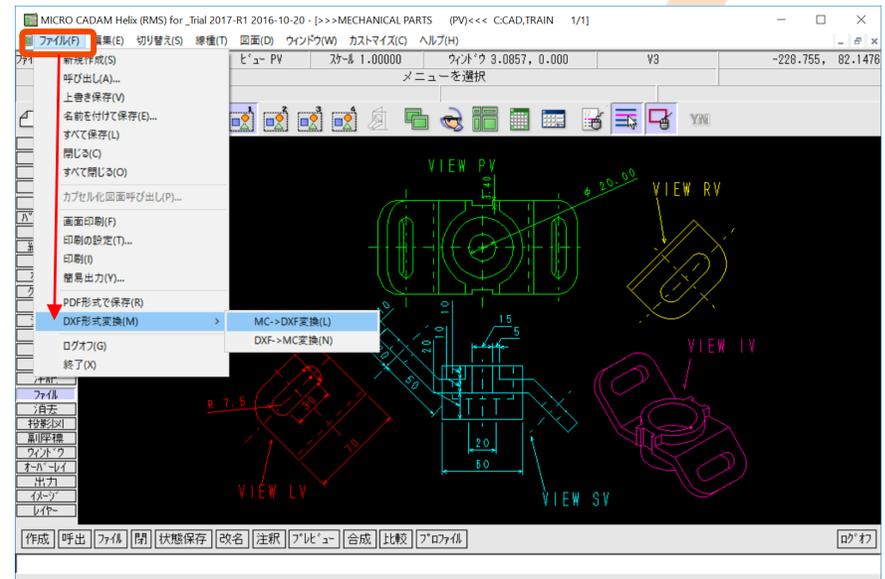
(注意)

- インストールのSTEP-9で、[MC Helixから直接インポート/エクスポートを可能にする] にチェックしないでインストールすると、この操作が出来なくなります。



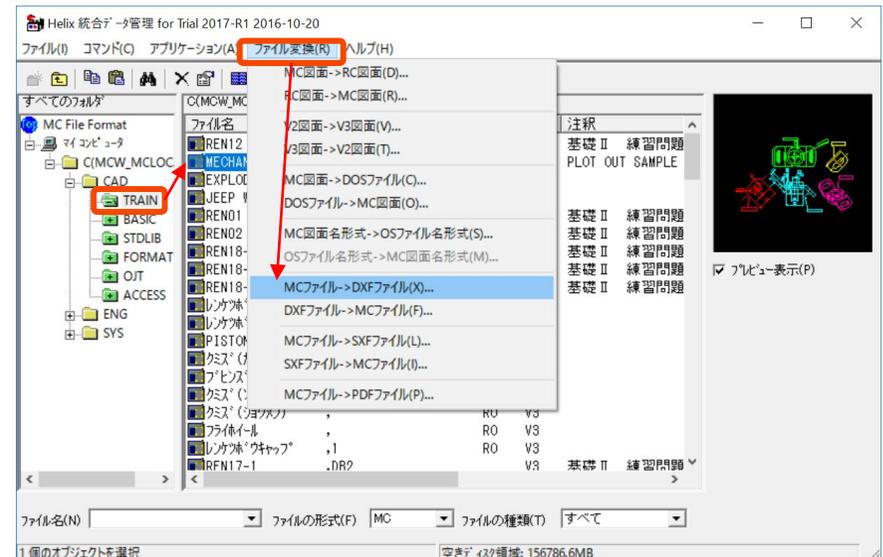
## 2. MICRO CADAM Helixのメニューを使う

- MICRO CADAM Helix のメニュー・バー [ファイル] にある変換メニューを使って変換します。
- 操作
  - 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダから、「MICRO CADAM Helix」アイコンをクリックして起動します。
  - メニューバー [ファイル(F)] でプルダウンメニューが表示され、下記のメニューから変換方法を選択します。
    - [PDF形式での保存(R)]
    - [DXF形式変換(M)]



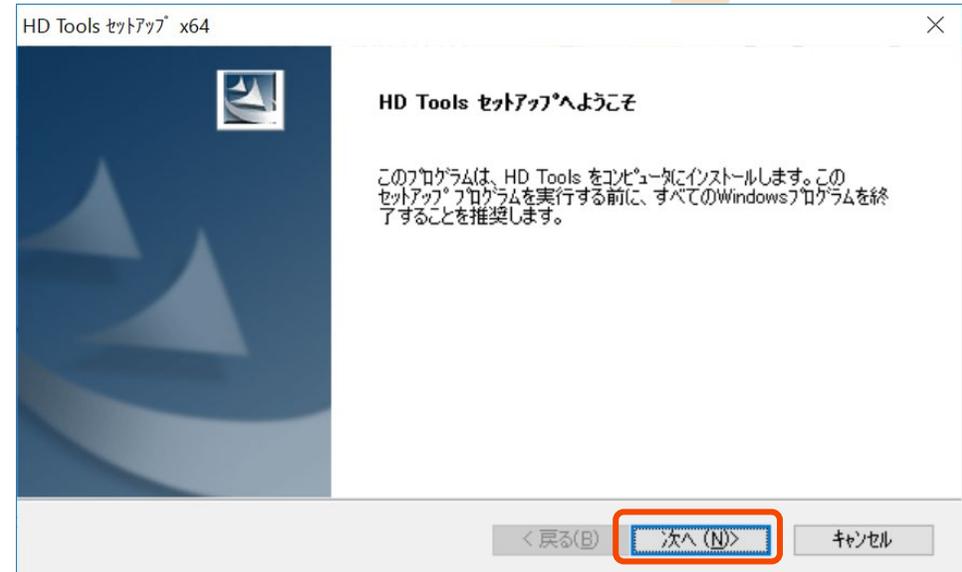
## 3. 統合データ管理を使う

- 統合データ管理のメニューから起動し、ダイアログ・ボックスで変換します。
- 操作
  - 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダから、「統合データ管理」アイコンをクリックして起動します。
  - 変換するファイルをクリックします。
  - メニューバー [ファイル変換(R)] をクリックすると、変換方法がプルダウンメニューで表示されます。

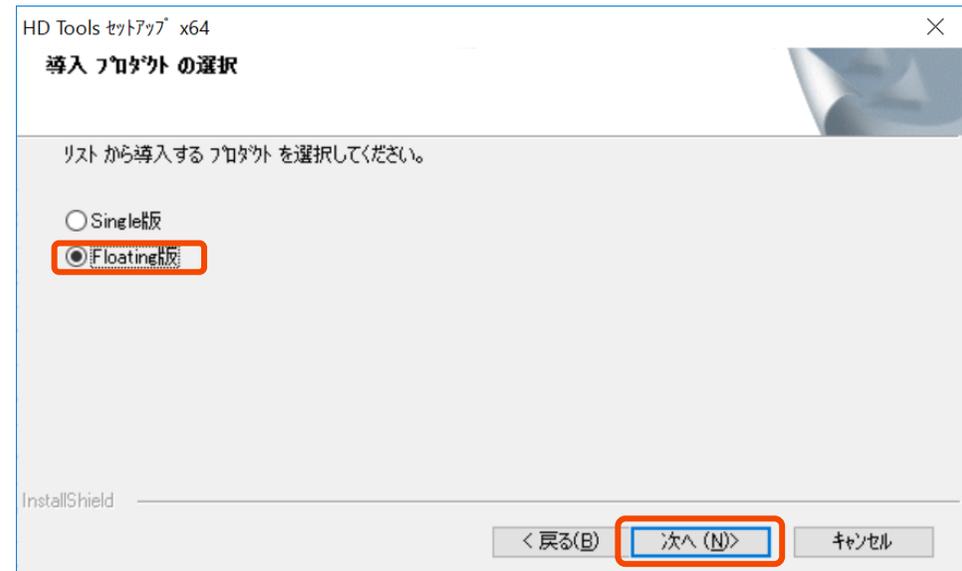


# 【インストールの実行（フローティング・ライセンス版）】

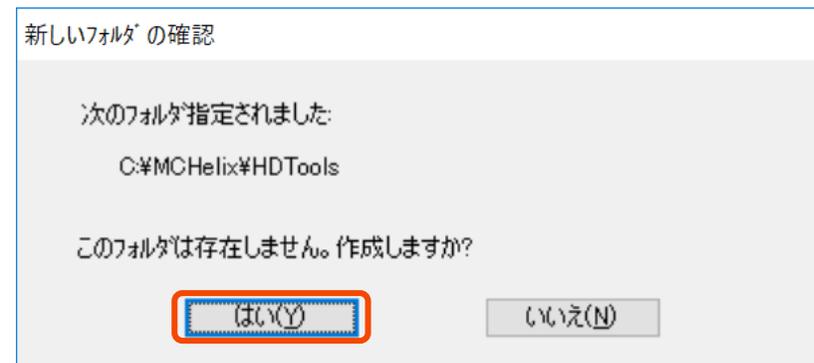
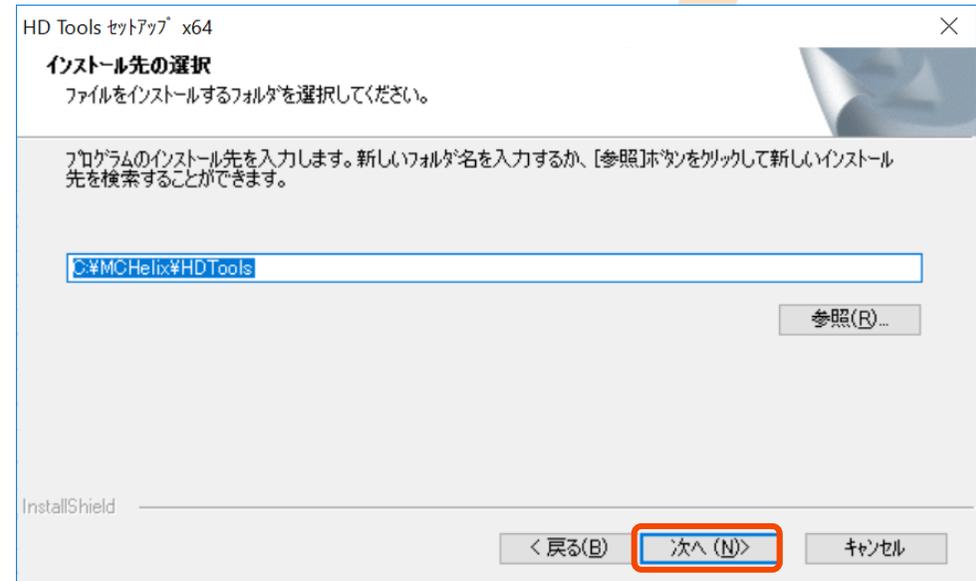
1. DVDの下記のフォルダーからsetup.exeを実行します。
  - Win64 → tools → setup.exeをダブルクリック
2. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
3. [次へ(N)] をクリックします。



4. [○Floating版] を選択し、[次へ(N)] をクリックします。

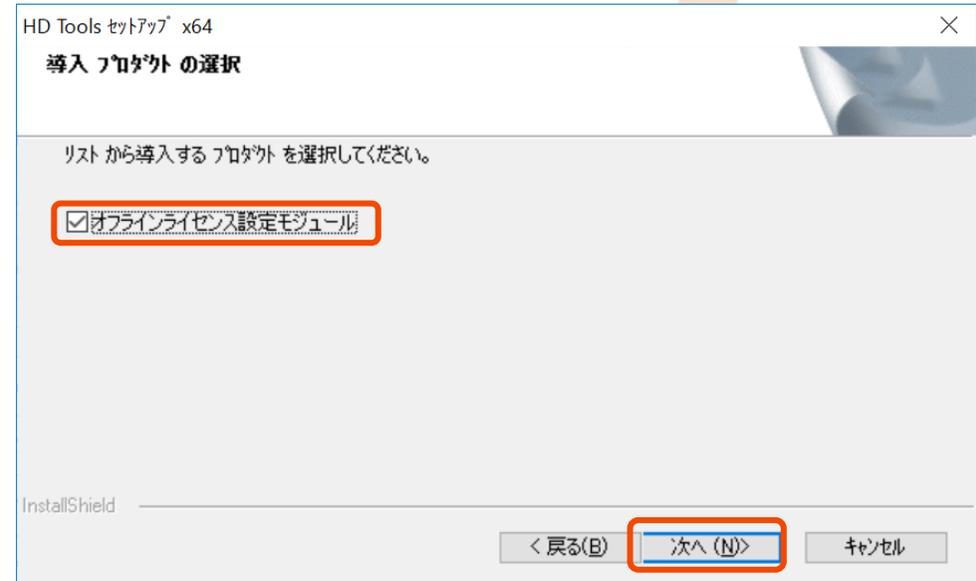


5. インストール先のフォルダを指定します。
  - MICRO CADAM Helixのインストール先フォルダが表示されています。
  - ここでは、MICRO CADAM Helixとは別のフォルダにインストールします。
6. [次へ(N)] をクリックします。
7. [はい(Y)] をクリックします。
8. [次へ(N)] をクリックします。



## 9. 導入プロダクトの選択

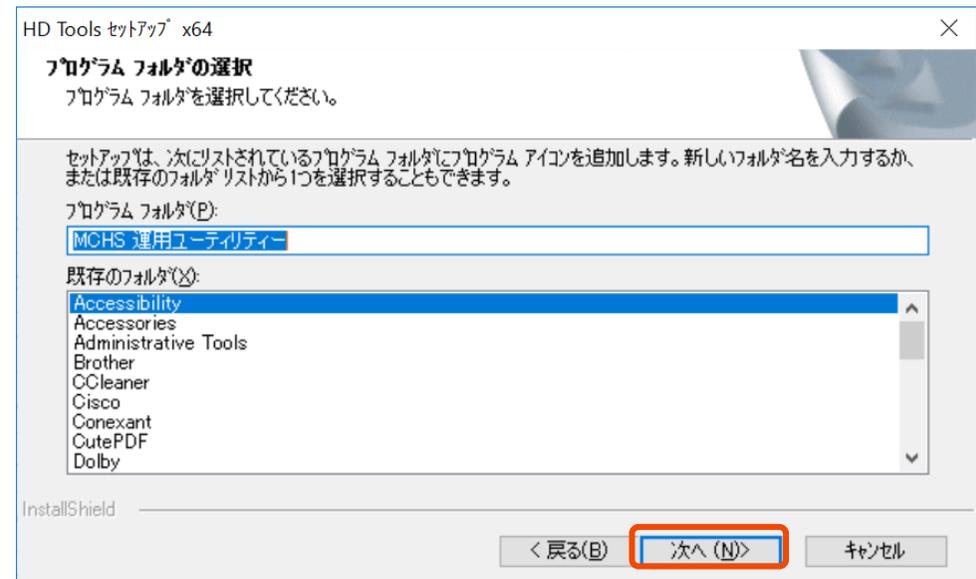
- フローティングライセンスの場合、ライセンスを一時的にライセンス・サーバーから切り離し、他のコンピューターにライセンスを貸し出すことが可能です。
- ここでは、[オフラインライセンス設定モジュール] にチェックして、貸し出し可能な設定とします。



## 10. プログラム・フォルダを選択または任意の名前を入力します。

- ここではデフォルトのままとします。

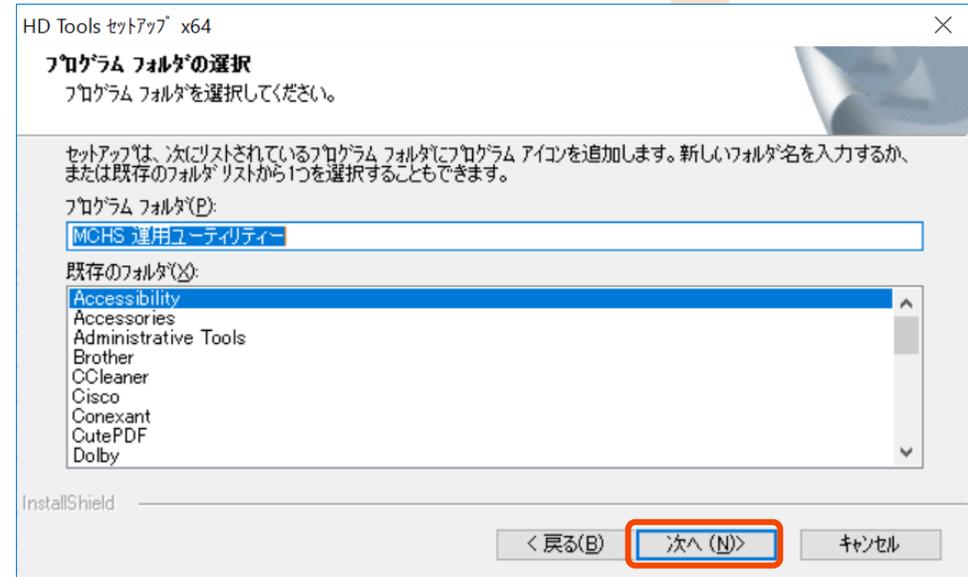
## 11. [次へ(N)] をクリックします。



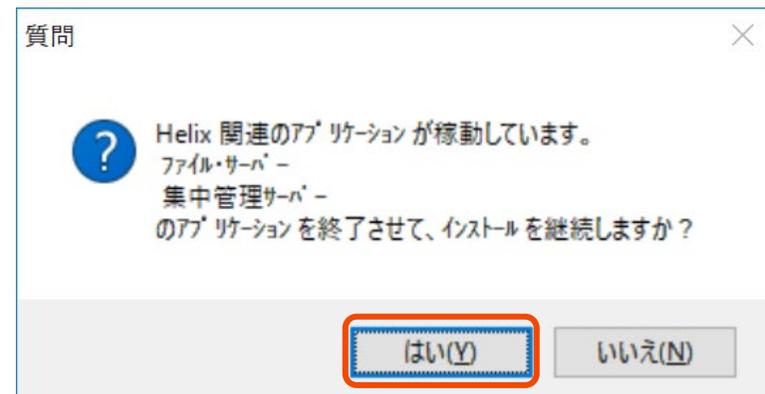
12.プログラム・フォルダを選択または任意の名前を入力します。

➤ ここではデフォルトのままとします。

13. [次へ(N)] をクリックします。



14. 「質問」ダイアログが表示された場合、 [[はい(Y)] をクリックします。



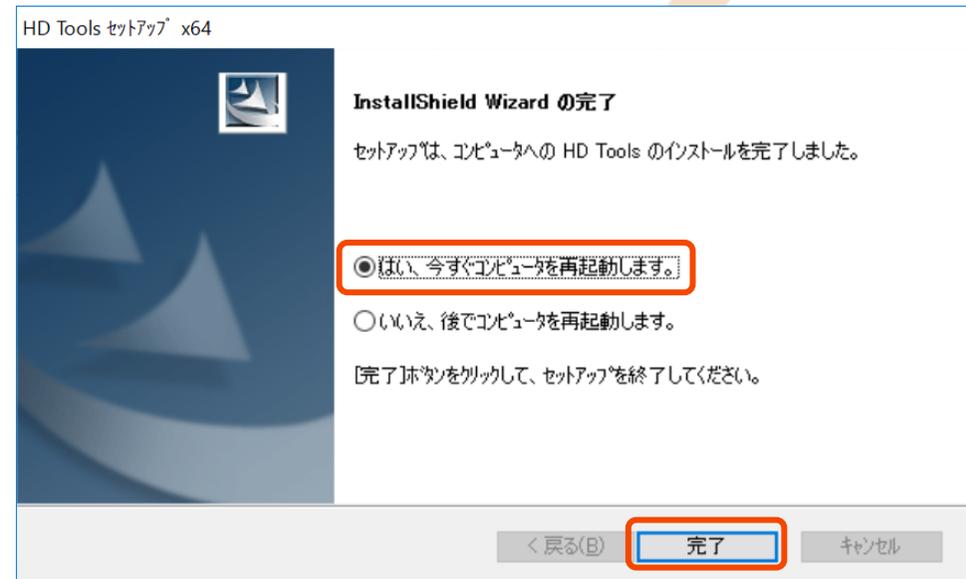
15. インストールが開始し、終了すると右図のダイアログ・ボックスが表示されます。

16. システムを再起動します。

- [○はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[OK] をクリックします。

17. システムが再起動されます。

- これでHD Toolsのフローティング版インストールは完了しました。



(参考)

HD Tools Floating版の操作及び環境設定については、  
「MCHS 運用ユーティリティー」プログラム・フォルダ内の  
『HD DXTran(Floating) 解説書』  
『HD PDFTran(Floating) 解説書』  
『HD SXTran(Floating) 解説書』  
をご参照ください。

「MCHS 運用ユーティリティ」プログラム・フォルダから、以下のモジュールをクリックして起動します。

## 1. DXF/DWG変換ツール

### ➤ 操作

- 「MCHS 運用ユーティリティ」プログラム・フォルダから「HD DXTran(Floating)」アイコンをクリックして起動します。
- 変換するファイルをクリックします。
- メニューバー [ファイル変換(R)] をクリックすると、変換方法がプルダウンメニューで表示されます。

## 2. PDFファイル変換ツール

### ➤ 操作

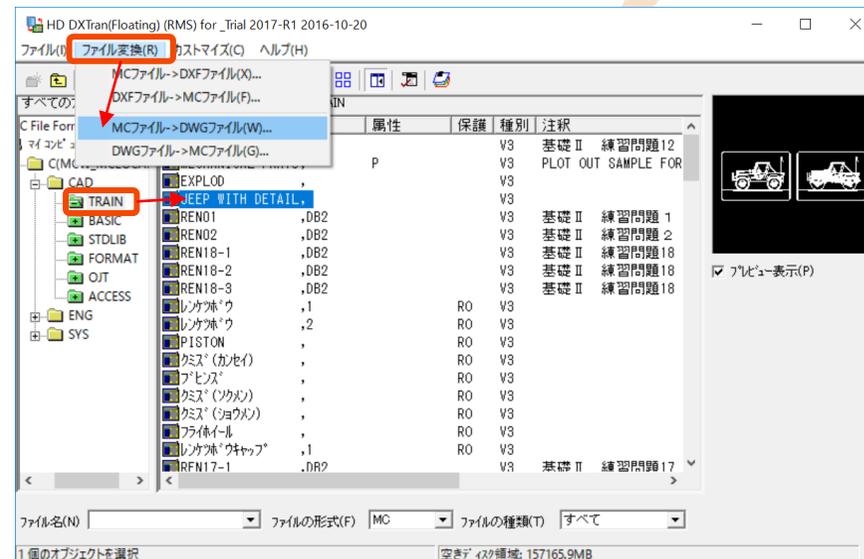
- 「MCHS 運用ユーティリティ」プログラム・フォルダから「HD PDFTran(Floating)」アイコンをクリックして起動します。
- 以後は上記1.と同様。

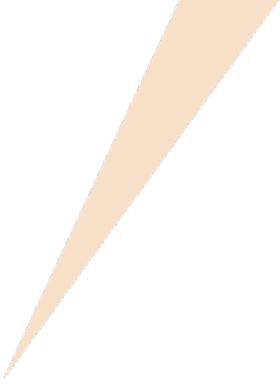
## 3. SXFファイル変換ツール

### ➤ 操作

- 「MCHS 運用ユーティリティ」プログラム・フォルダから「HD SXFTran(Floating)」アイコンをクリックして起動します。
- 以後は上記1.と同様。

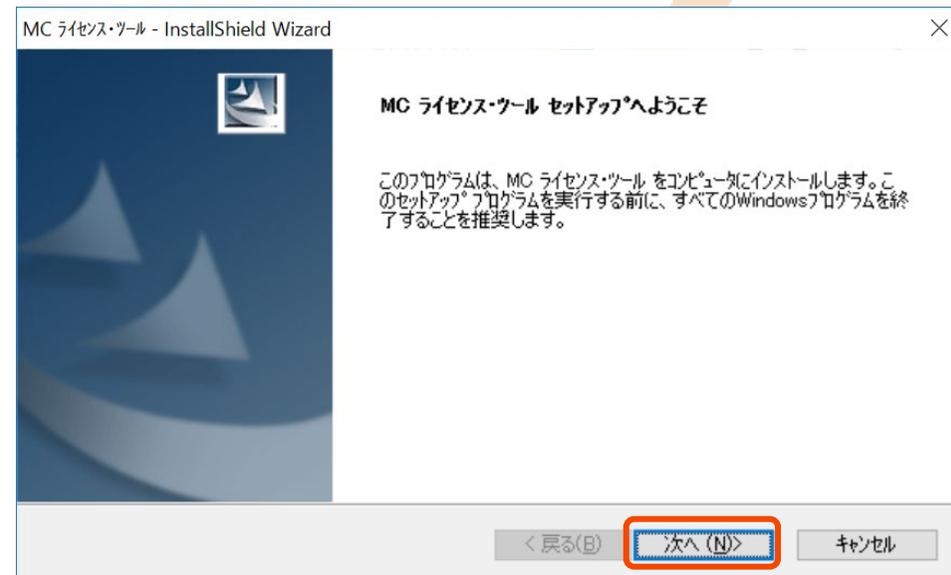
HD DXTran(Floating)の起動例



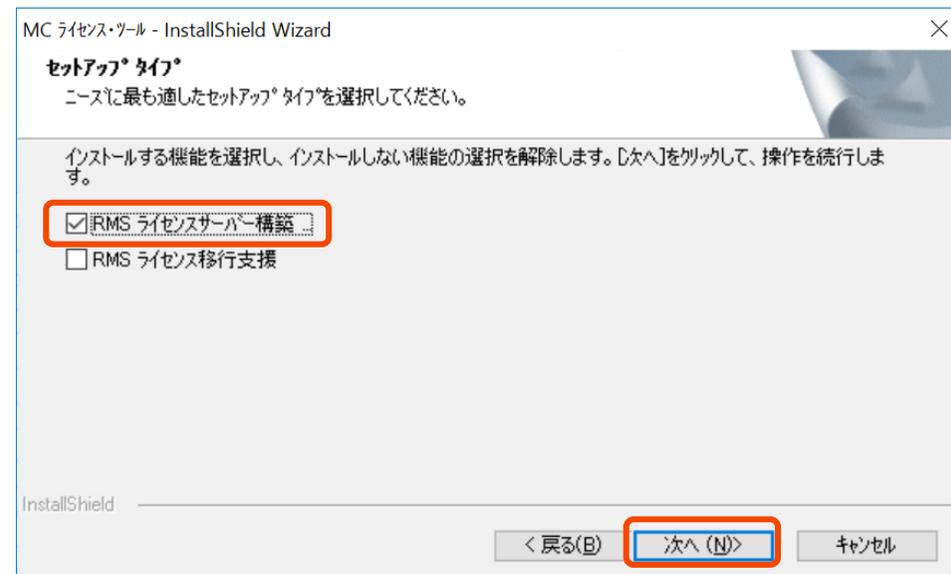


# 第五章 MCライセンス・ツール インストール手順

1. DVDの下記のフォルダーからsetup.exeを実行します。
  - MCLic → windows → setup → setup.exeをダブルクリック
2. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
3. [次へ(N)] をクリックします。



4. セットアップ・タイプの選択
  - ここでは、ライセンスサーバー構築を行うので、  
[RMSライセンスサーバー構築] にチェックします。
5. [次へ(N)] をクリックします。



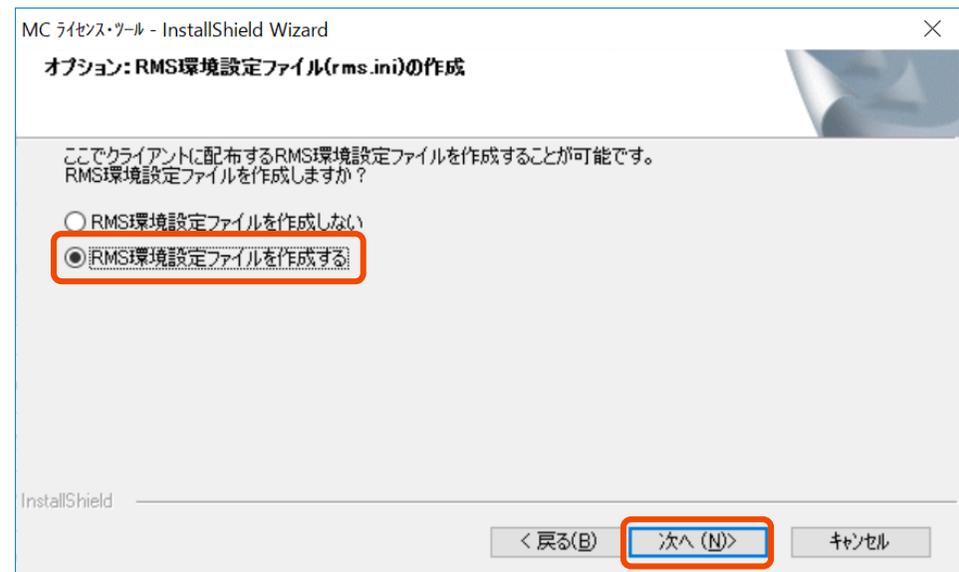
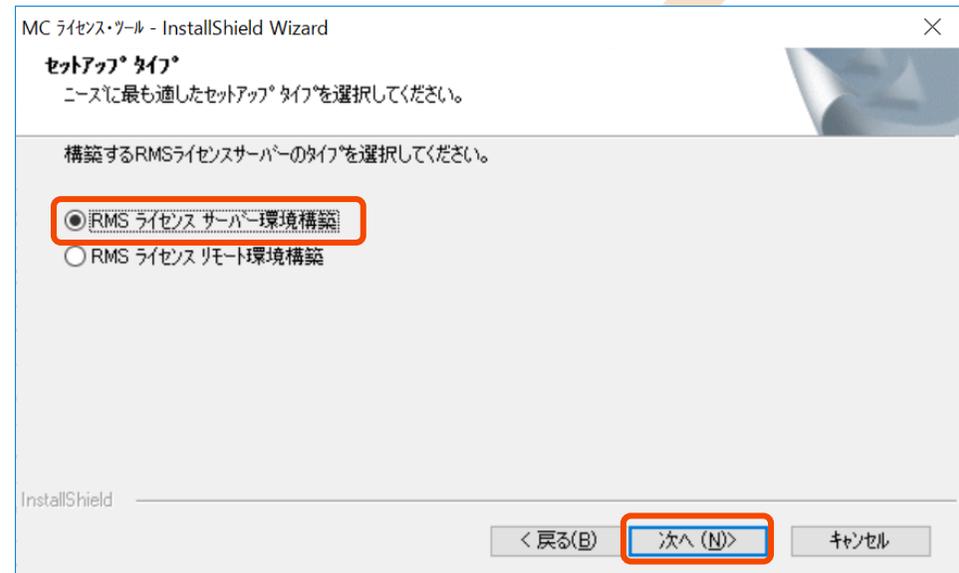
6. [○RMSライセンスサーバー環境構築] を選択します。

7. [次へ(N)] をクリックします。

8. オプションの指定

- どのコンピューターがライセンスサーバーかを認識させるためのクライアントマシン用の環境設定ファイル (rms.ini) ファイルを作成します。
- [○RMS環境設定ファイルを作成する] を選択します。

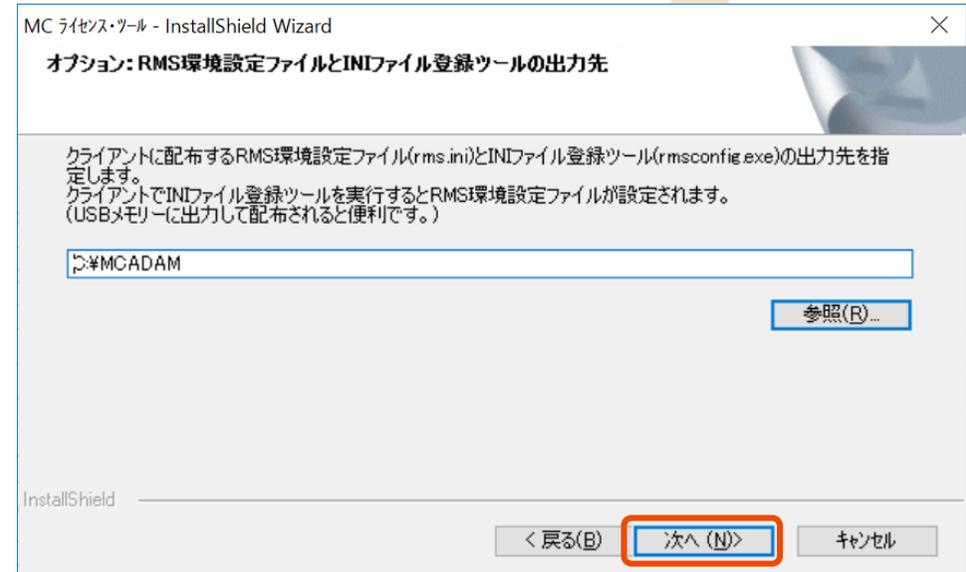
9. [次へ(N)] をクリックします。



## 10. rms.iniの出力先指定

- ここでは、C:¥MCADAMと入力します。

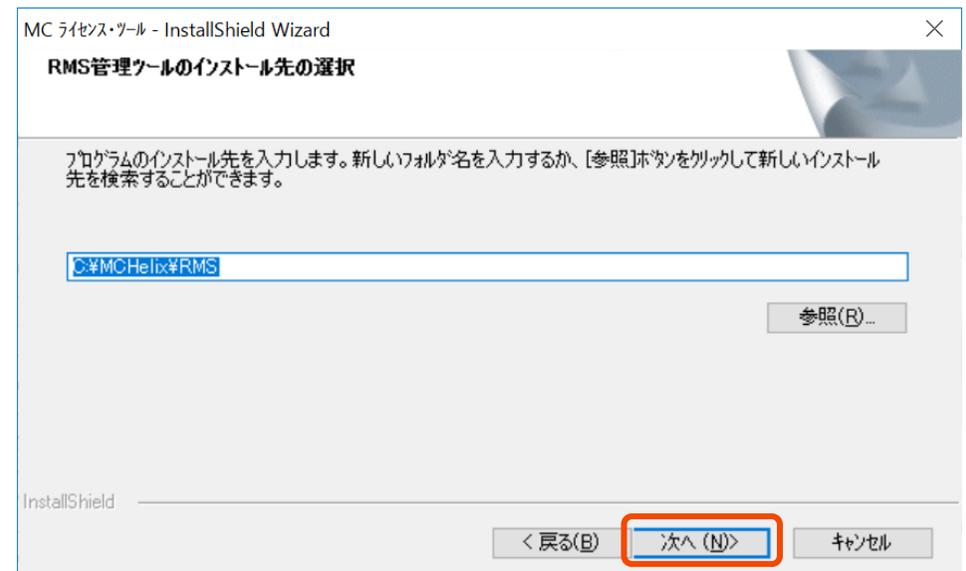
## 11. [次へ(N)] をクリックします。



## 12. インストール先のフォルダを指定します。

- ここでは、デフォルトのフォルダーを使用します。

## 13. [次へ(N)] をクリックします。



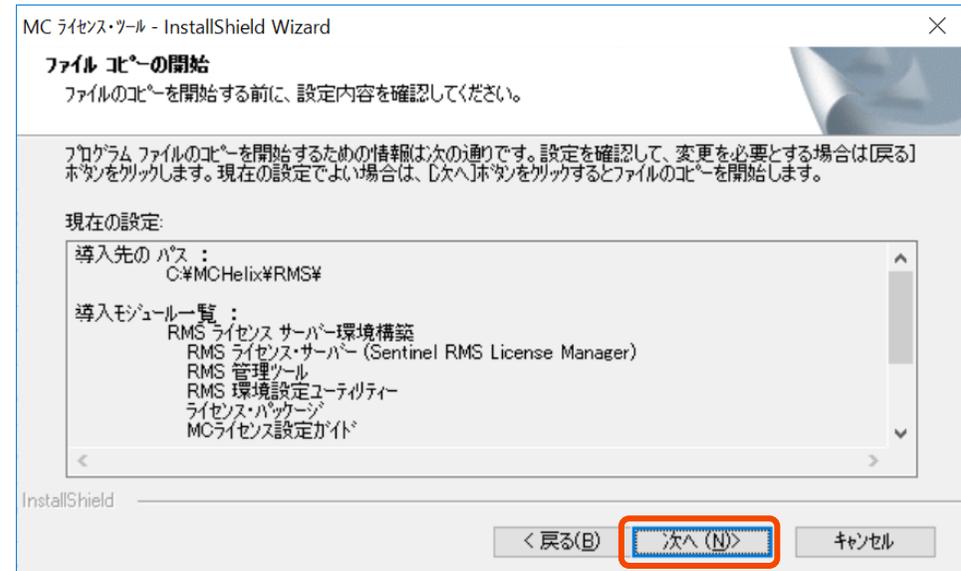
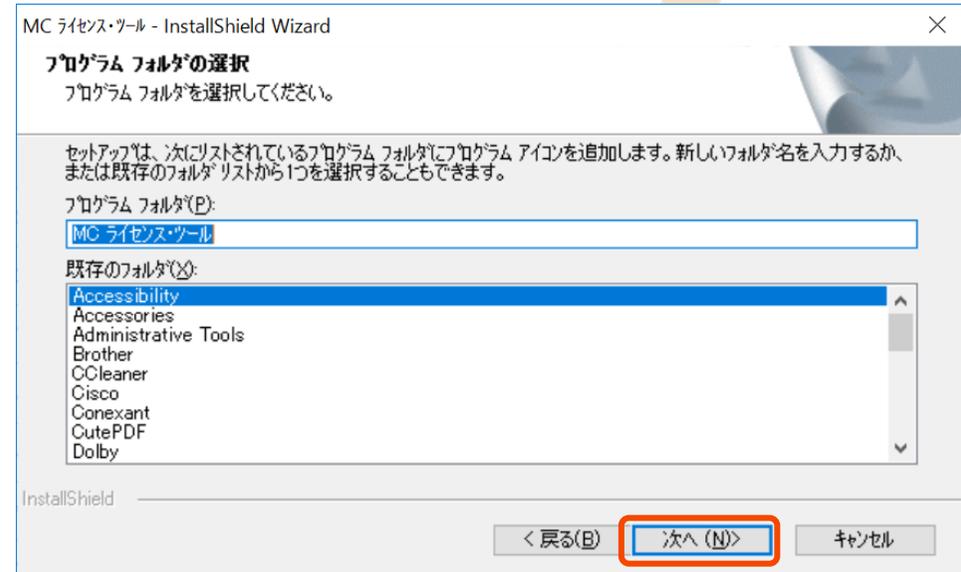
14.プログラム・フォルダを選択または任意の名前を入力します。

➤ ここではデフォルトのままとします。

15. [次へ(N)] をクリックします。

16.導入内容を確認します。

17. [次へ(N)] をクリックします。



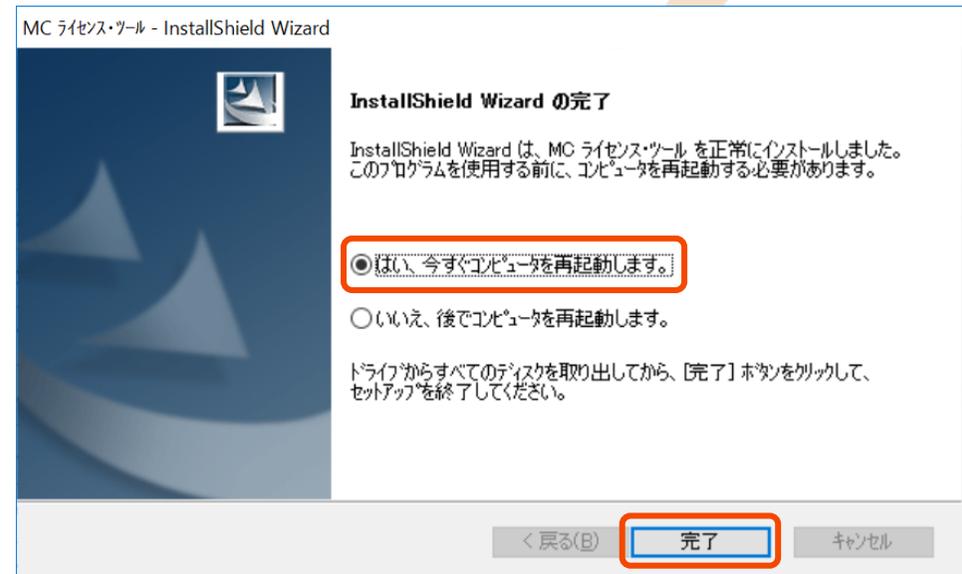
18.インストールが開始し、終了すると右図のダイアログ・ボックスが表示されます。

19.システムを再起動します。

- [○はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[OK] をクリックします。

20.システムが再起動されます。

- これでMCライセンス・ツールのインストールは完了しました。

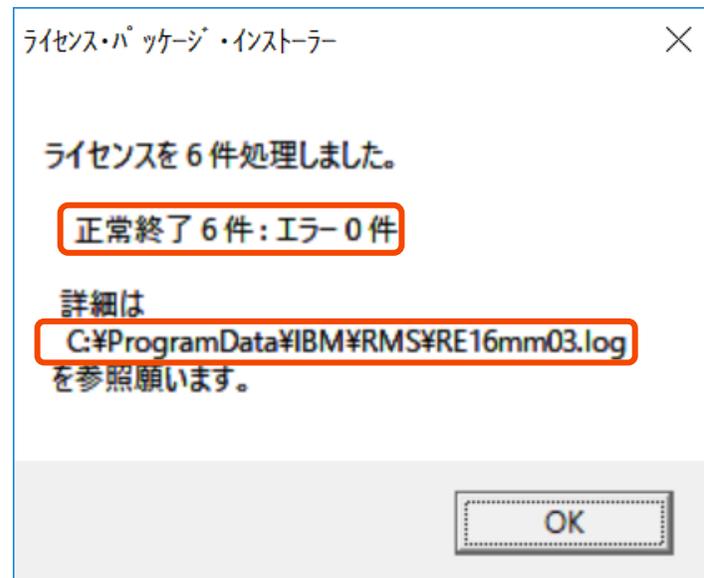


(参考)

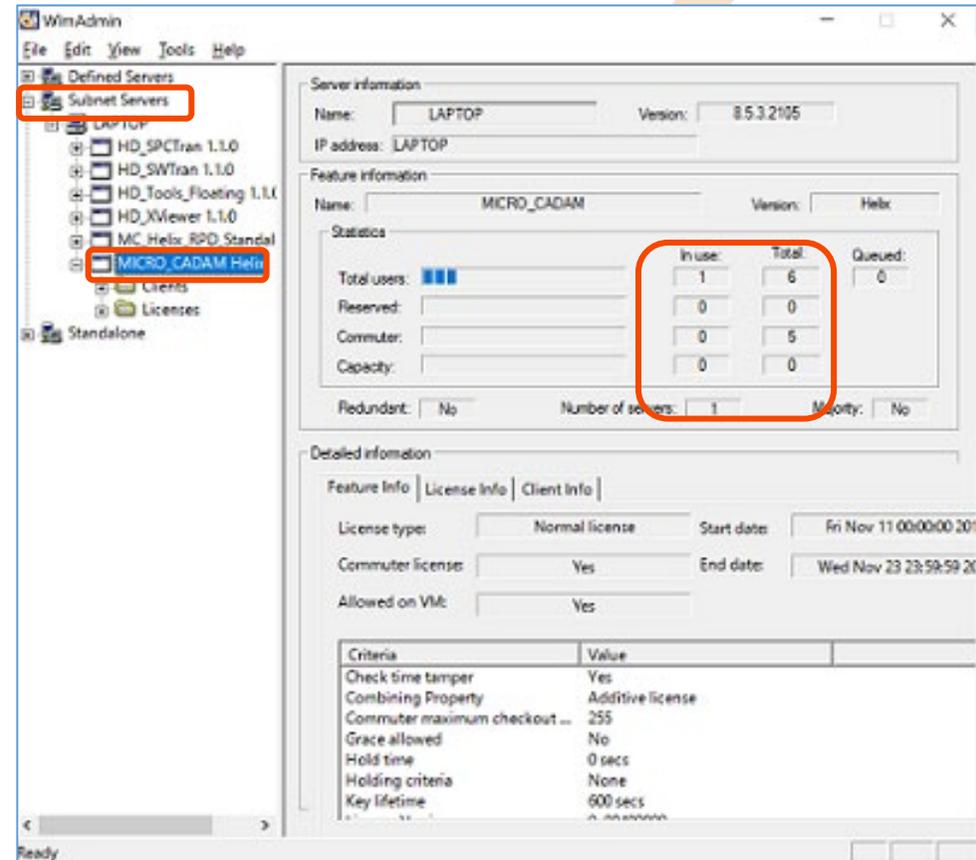
MCライセンスツールの操作及び環境設定については、「MCライセンス・ツール」プログラム・フォルダ内の『MCライセンス設定ガイド』をご参照ください。

1. コンピューターには管理者 (Administrator) 権限でログインしておきます。
2. 「ライセンス・パスワード申請書」に基づき、管理者様に送付されたメールに添付されているライセンス・パッケージ・ファイル (~.ml) を、MICRO CADAMをインストールしているコンピューターの任意のフォルダに保存します。
3. Windowsエクスプローラーで、コンピューターにコピーしておいたライセンス・パッケージ・ファイルをダブルクリックします。
  - 登録が完了すると、メッセージ・ボックスに登録結果が表示されます。
  - ライセンスファイルにあらかじめ登録されているロッキングコードと、MICRO CADAMがインストールしているコンピューターのロッキングコードが合致しているライセンスに対して、正常終了扱いになります。合致しない場合は無視されます。
  - 処理結果の詳細については、メッセージ・ボックスに記載されているログ・ファイル (logファイル) をご確認ください。

## 実行例



1. [MCライセンス・ツール] プログラム・フォルダーから、「ライセンス管理アクティビティ」を起動します。
2. 左側のツリー中の「Subnet Servers」を展開します。
  - 右図のように、HD\_Tools\_Floating 1.1.0を選択すると、赤枠内の欄に所有するライセンス本数とその使用状況が表示されます。



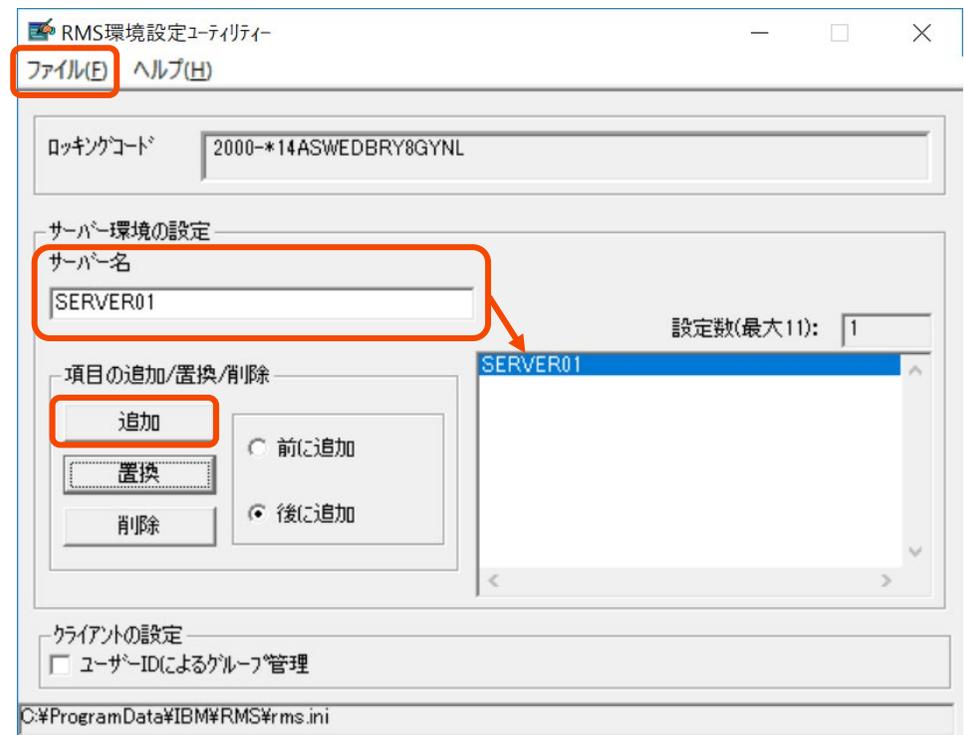
クライアント用コンピュータから、ライセンスサーバーマシンを認識させるには、以下のいずれかの方法で設定できます。

## 1. rms.iniファイルのクライアントへの配布

- P-28で作成しておいたrms.iniファイルを、クライアント用コンピュータのフォルダー  
C:\ProgramData\IBM\RMS に保存してください。

## 2. クライアントの環境設定

- [MICRO CADAM Helix] プログラム・フォルダーから、「RMS環境設定ユーティリティー」を起動します。
- [サーバー名] 欄に、ライセンスサーバーのコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。
- [追加] をクリックします。
- [ファイル(F)] → [保存(S)] → [終了(X)] で保存・終了します。

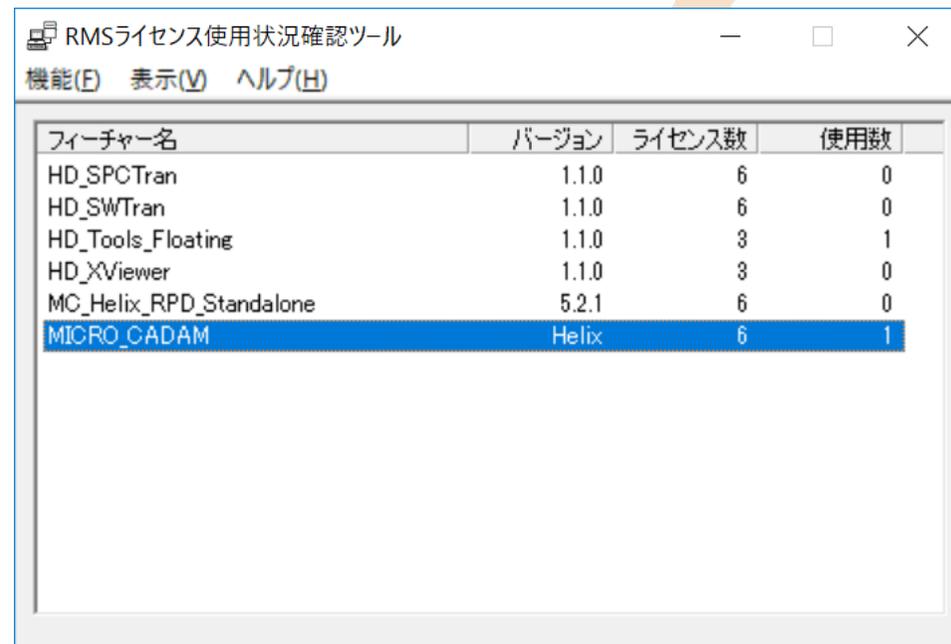


# 【ライセンス内容確認（クライアント側）】

クライアントからはフローティングライセンスの空き状況を確認することができます。

## 1. 操作

- [MICRO CADAM Helix] プログラム・フォルダーから、「RMSライセンス使用状況確認ツール」を起動します。
- 利用可能なライセンスの種類と本数、及びその消費状況が確認できます。



フィーチャー名	バージョン	ライセンス数	使用数
HD_SPCTran	1.1.0	6	0
HD_SWTran	1.1.0	6	0
HD_Tools_Floating	1.1.0	3	1
HD_XViewer	1.1.0	3	0
MC_Helix_RPD_Standalone	5.2.1	6	0
<b>MICRO_CADAM</b>	Helix	6	1

# ネットワーク編

## ■ 本資料の目的

- 本ガイドでは、MICRO CADAM Helix 20xx及びその関連製品をネットワーク環境でご利用になる場合の必要最低限のインストール手順について説明しています。詳細については、それぞれのマニュアルをご参照ください。

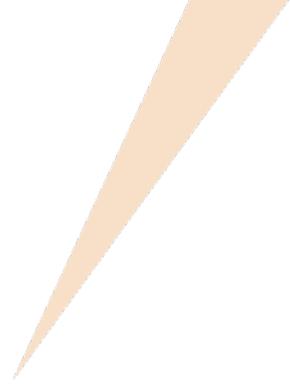
## ■ 前提条件

- このインストール手順は、DVDから実行することを前提に説明されています。ダウンロードから実行する場合でも手順はほぼ同等です。
- インストール・モジュールにはWindows版 MICRO CADAMの64bit版を使用しています。
- 画面イメージはWindows 10ですが、他のWindows OSでも同じ手順です。

## ■ 留意事項

- ネットワーク環境のクライアントマシンに対してMICRO CADAM Helix 20xxをインストールする手順は、『ソフトウェア・セットアップ・ガイド（スタンドアローン編）』の第一章と同じです。

当資料の内容は、2018年8月時点（MICRO CADAM Helix 2018R3）の機能をベースに記述しております。今後の機能改善・追加によっては記述内容が変更される場合があります。



# 第一章 MICRO CADAM Helix Server インストール手順

## 【インストールの実行】

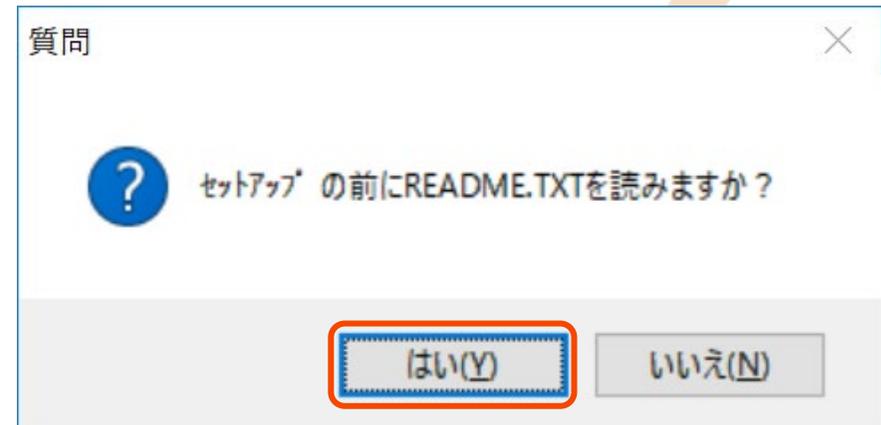
1. DVDの下記のフォルダーからsetup.exeを実行します。
  - Win64 → hsv → setup.exeをダブルクリック
2. 「質問」メッセージボックスが表示された場合、  
[はい(Y)] をクリックしてください。



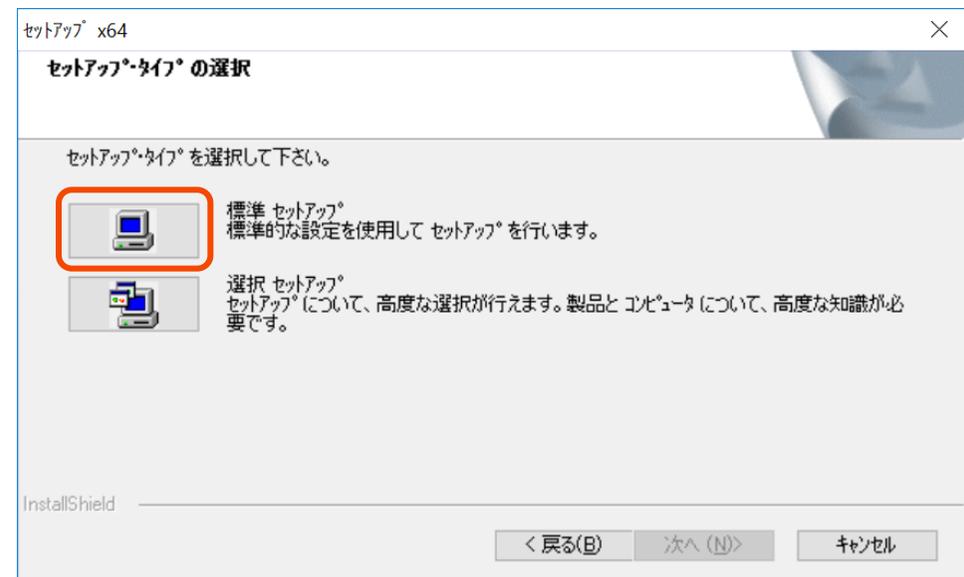
3. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
4. [次へ(N)] をクリックします。



5. 「質問」メッセージボックスが表示されるので、  
[はい(Y)] をクリックしてREADMEをお読みください。
6. 読み終わった後、テキストエディターを終了してください。



7. セットアップ・タイプを選択します。
  - [標準セットアップ] ボタンをクリックします。

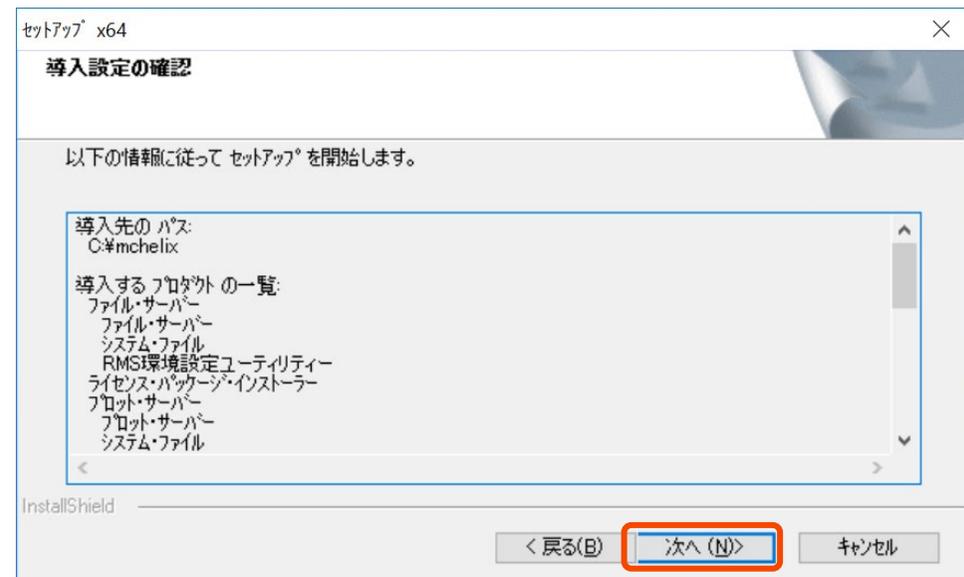
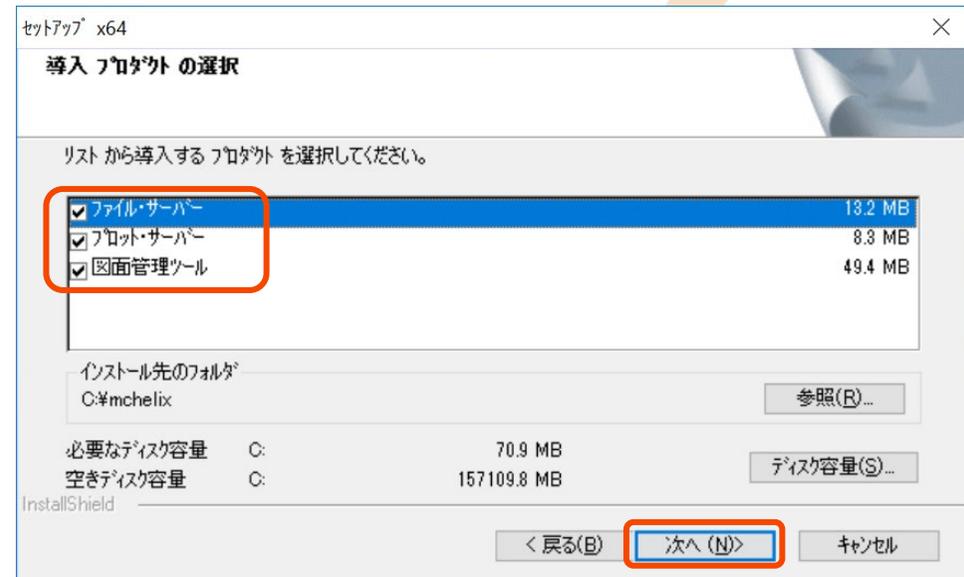


8. 導入プロダクトおよびインストール先のフォルダを指定します。

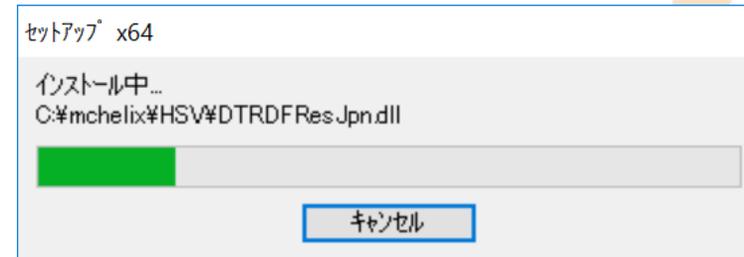
- ▶  [ファイル・サーバー]、 [プロット・サーバー] 及び  [図面管理ツール] をチェックします。

9. [次へ(N)] をクリックします。

10. 表示されている内容でよければ、[次へ(N)] をクリックします。



11.インストールが開始します。



12.モジュールのインストールが終わると、「質問」メッセージボックスが表示されます。[はい(Y)]をクリックして、SERVER.TXTをお読みください。



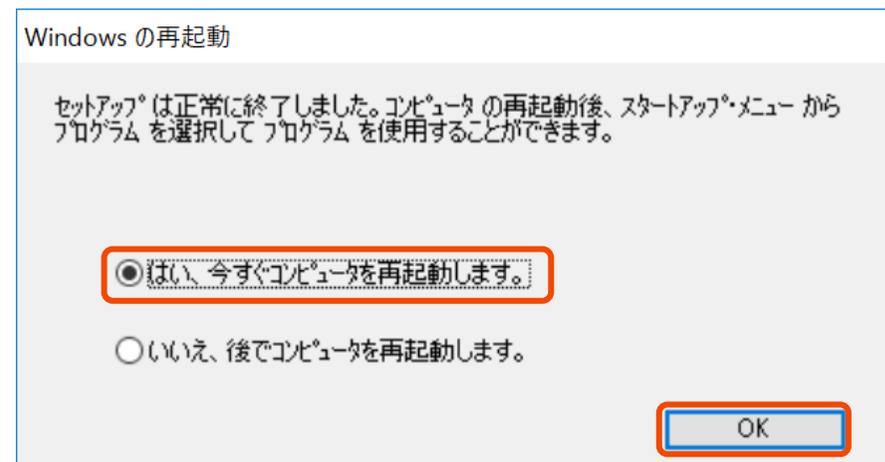
13.読み終えた後、テキストエディターを終了してください。

14.システムを再起動します。

- [○はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、[OK]をクリックします。

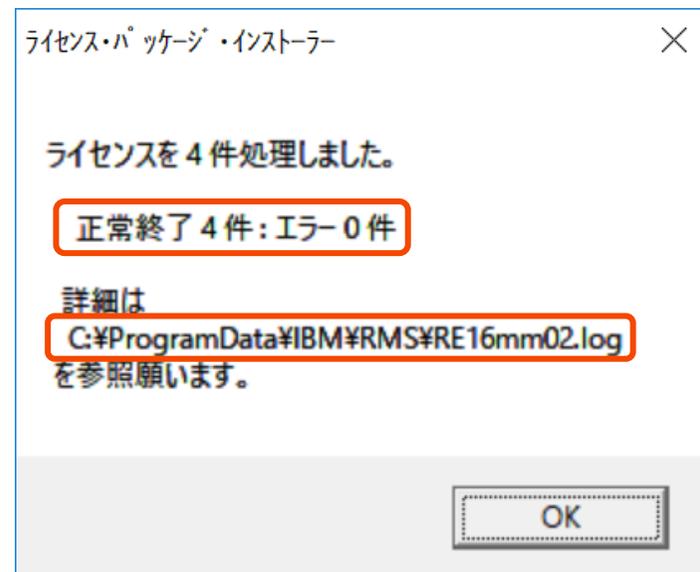
15.システムが再起動されます。

- これでMICRO CADAM Helix Serverのインストールは完了です。



1. コンピューターには管理者 (Administrator) 権限でログインしておきます。
2. 「ライセンス・パスワード申請書」に基づき、管理者様に送付されたメールに添付されているライセンス・パッケージ・ファイル (~.ml) を、MICRO CADAMをインストールしているコンピューターの任意のフォルダに保存します。
3. Windowsエクスプローラーで、コンピューターにコピーしておいたライセンス・パッケージ・ファイルをダブルクリックします。
  - 登録が完了すると、メッセージ・ボックスに登録結果が表示されます。
  - ライセンスファイルにあらかじめ登録されているロッキングコードとMICRO CADAMをインストールしているコンピューターのロッキングコードとが合致している場合は正常終了扱いになります。合致しない場合はライセンスが登録されません。
  - 処理結果の詳細については、メッセージ・ボックスに記載されているログ・ファイル (logファイル) をご確認ください。

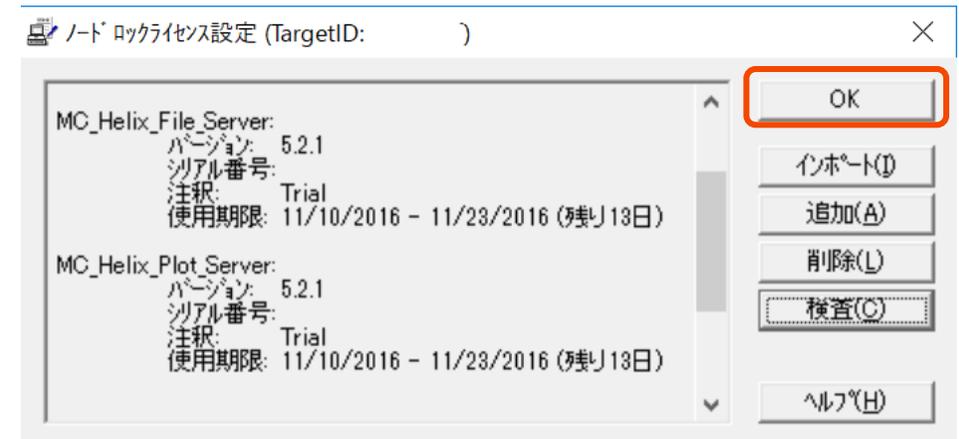
## 実行例



4. 登録したライセンスを確認します。
  - 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダから、「ノードロックライセンス設定モジュール」アイコンをクリックして起動します。
5. [検査(C)] をクリックします。



6. 3.で導入したライセンスが表示されていることを確認してください。モジュール名として右図のように表示されています。
  - 製品名が表示されます。
  - [OK] で終了します。



## 【ファイル・サーバーの環境設定】

MICRO CADAMをサーバー/クライアント環境でご利用の場合、サーバー側のファイルフォルダーをクライアントの仮想的なドライブとして認識させることにより、サーバー側の図面データをクライアントのローカルドライブの図面と同等に扱うことができます。

### 【サーバーマシンの環境の設定】

必要に応じて下記の環境設定ファイル、

- MCSERV5.SYS
- MCFILE5.SYS

を編集する必要がありますが、ここでは、デフォルト環境のままセットアップします。

#### (参考)

サーバーの設定の詳細については、「MC Helix Server」プログラム・フォルダ内の『ファイル・サーバー解説書 (2.2 サーバーの設定)』をご参照ください。

【クライアントマシンの環境設定】

1. Hosts ファイルの設定

- クライアントがクライアントとして機能するには、Windows の hosts ファイルに、ネットワークのクライアント/サーバーに関する登録が必要です。
- hosts ファイルで指定するホスト名は、15 文字以内としてください。

(例) hosts ファイルの指定

129.20.10.1 mastfile.tokyo.cads.co nicknm

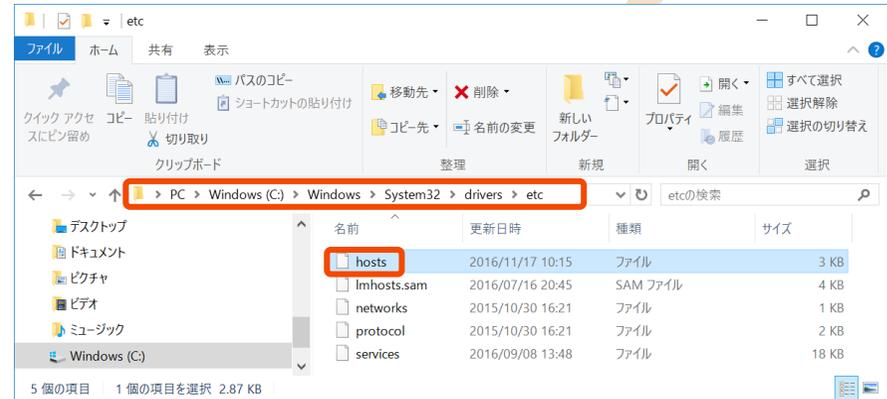
↑                    ↑                    ↑  
IP アドレス    実際のホスト名    別名

2. MCFILE5.SYS ファイルの設定

- 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダから、「環境設定ユーティリティ」アイコンをクリックして起動します。
- 「MCFILE5.SYS」をクリックし、[サーバー]シートをクリックします。
  - 仮想区画名：X と入力します。
  - ホスト名：サーバーのコンピューター名を入力します。
  - サーバーの種別：MC/Wをチェックします。
  - 実区画：サーバーの実際のドライブ名を入力します。
  - [追加] をクリックします。
  - 設定内容が書き込まれます。
  - [ファイル] → [保存] → [ファイル] → [終了] で設定内容を保存します。

(hostsファイルの保存先)

※編集には管理者権限で実行する必要があります。

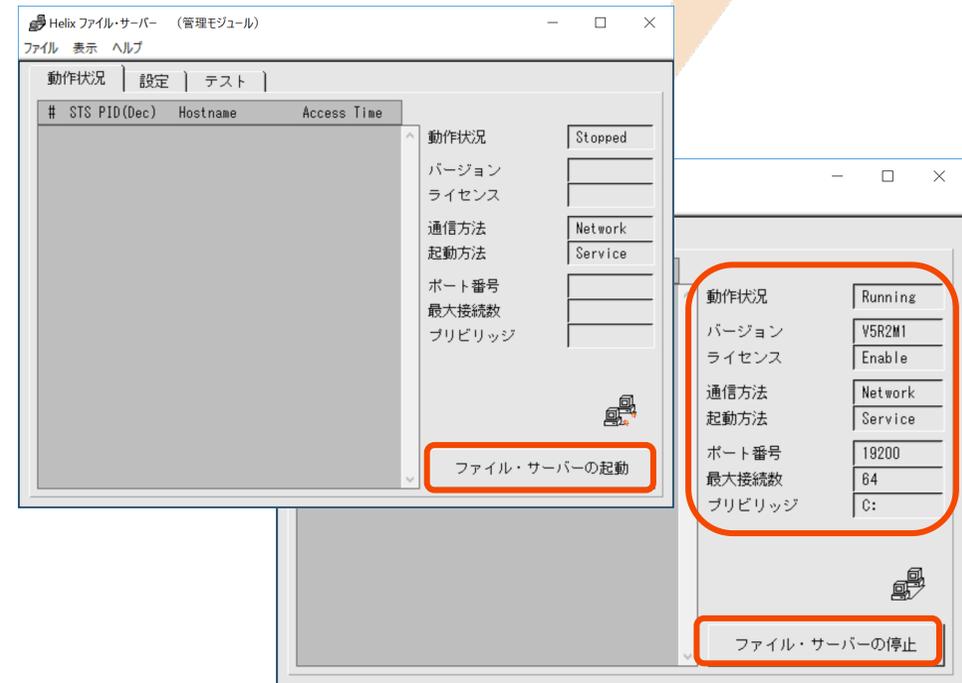


(参考)

クライアントの設定の詳細については、「MC Helix Server」プログラム・フォルダ内の『ファイル・サーバー解説書 (2.3 クライアントの設定)』をご参照ください。

## 1. マニュアル起動

- 「MC Helix Server」プログラム・フォルダから、「ファイル・サーバー」アイコンをクリックして起動します。
- 「Helixファイル・サーバー（管理モジュール）」が起動します。
- 「ファイル・サーバーの起動」をクリックします。
- 表示が以下のように更新されます。
  - 動作状況： Stopped→Running
  - バージョン： 空欄→V5R2M1
  - ライセンス： 空欄→Enable
  - 通信方法： Network→変わらず
  - 起動方法： Service→変わらず
  - ポート番号： 空欄→19200
  - 最大接続数： 空欄→64
  - プリビリッジ： 空欄→C:



## 2. 自動起動

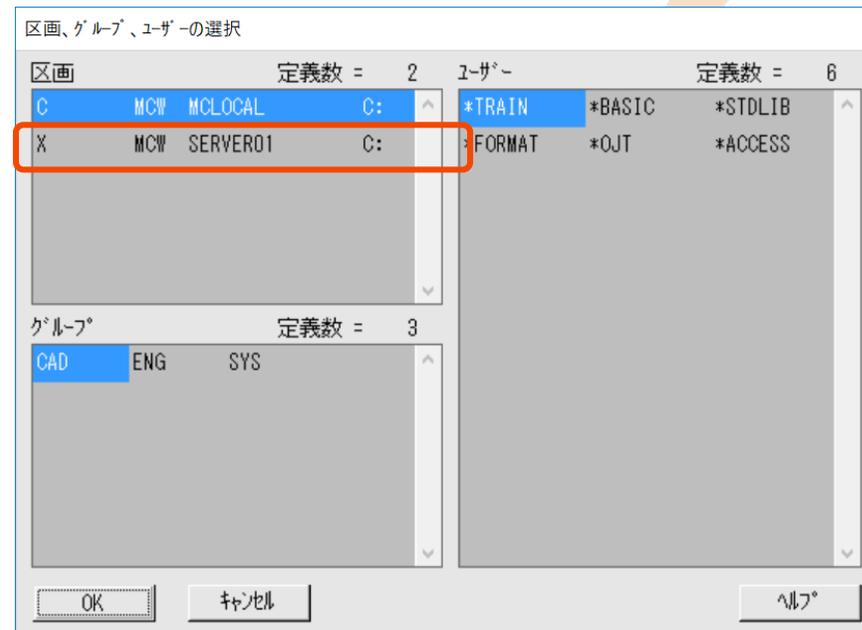
- 自動起動を設定すると、ファイル・サーバーは、オペレーティング・システムの起動時に自動的に起動されます。
- ファイル・サーバーのモード変更用プログラム MCSVRGST.EXE を使用し、コマンド・プロンプトで次のように入力します。
  - > MCSVRGST /A
- 起動する際のカレント・ディレクトリーは、モード変更用プログラムが格納されているディレクトリーです。  
(入力例) C:¥mchelix¥HSV¥MCSVRGST /A

### (参考)

Helixファイル・サーバー（管理モジュール）の詳細については、「MC Helix Server」プログラム・フォルダ内の『ファイル・サーバー解説書（2.4 モジュールの使い方）』をご参照ください。

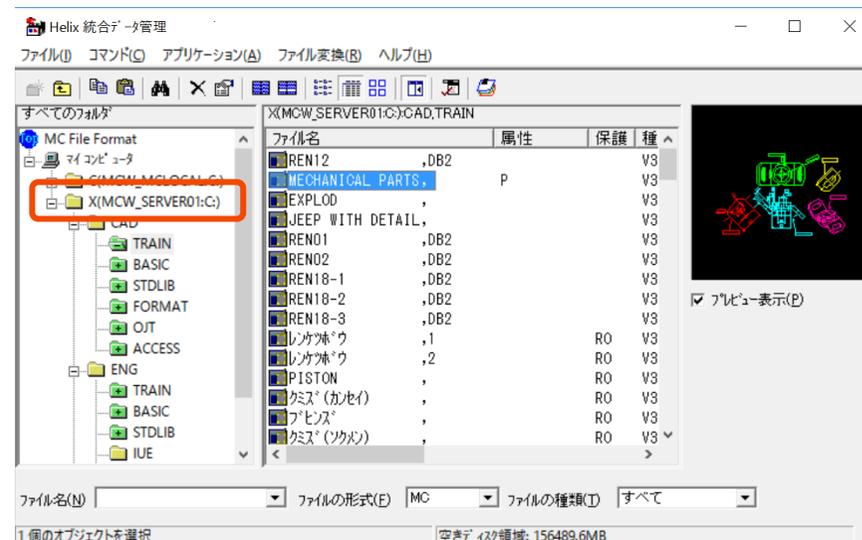
## 【MICRO CADAM Helixの場合】

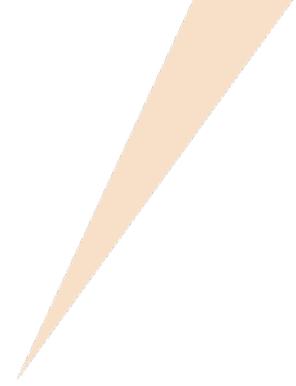
1. 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダから、「MICRO CADAM Helix」アイコンをクリックして起動します。
2. 「区画、グループ、ユーザーの選択」が表示されます。
  - 右下図のように、MICRO CADAM起動時に、仮想ドライブのXドライブが選択可能になります。



## 【Helix 統合データ管理の場合】

1. 「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダから、「統合データ管理」アイコンをクリックして起動します。
2. 左側のフォルダー・ツリー表示域に仮想ドライブXが表示されます。

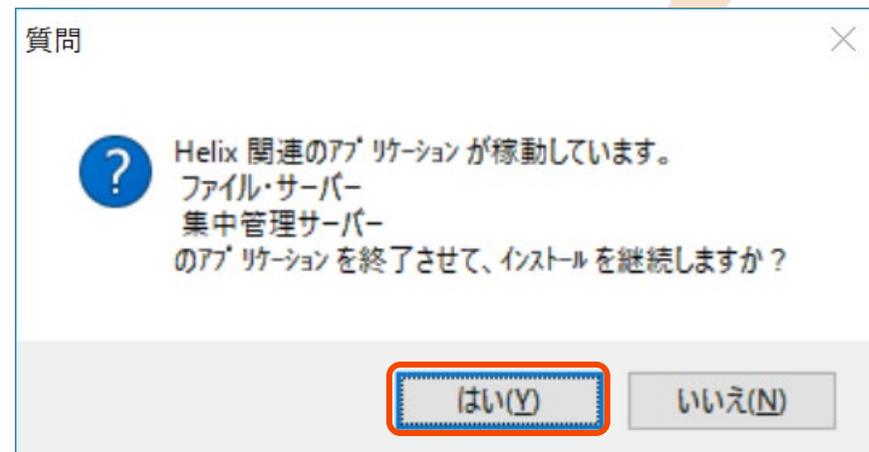




# 第二章 MICRO CADAM Helix RPD Server インストール手順

## 【インストールの実行】

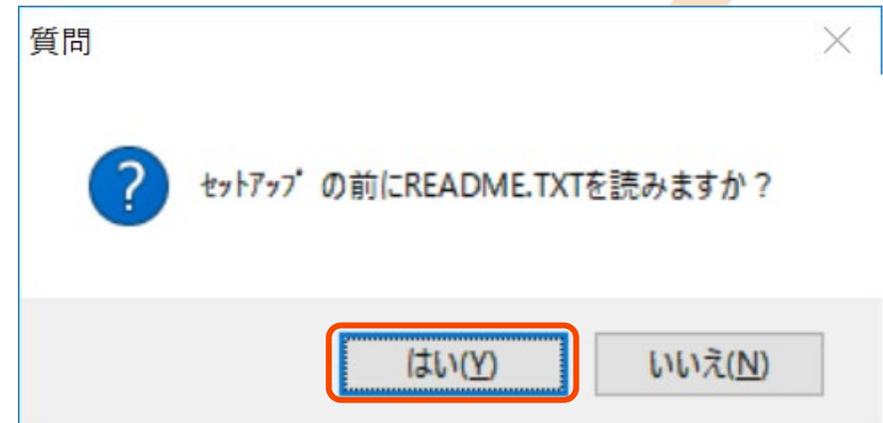
1. DVDの下記のフォルダーからsetup.exeを実行します。
  - Win64 → rpd → setup.exeをダブルクリック
2. 「質問」メッセージボックスが表示された場合、  
[はい(Y)] をクリックしてください。



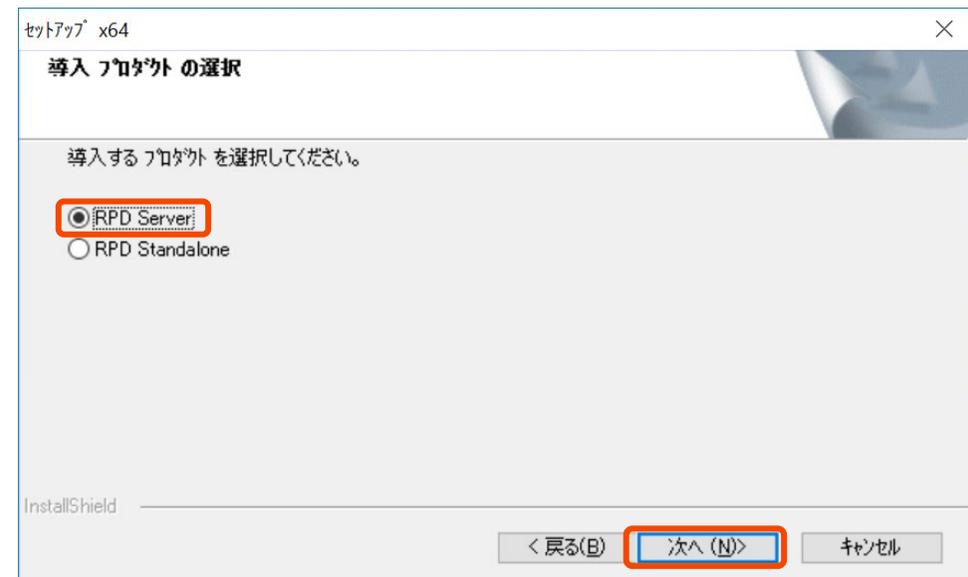
3. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
4. [次へ(N)] をクリックします。



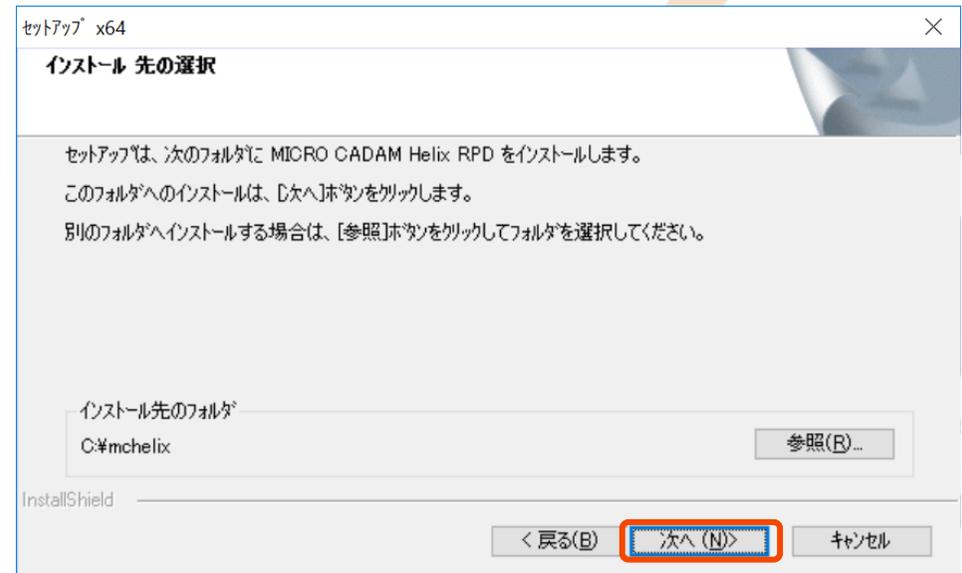
5. 「質問」メッセージボックスが表示されるので、  
[はい(Y)] をクリックしてREADMEをお読みください。
6. 読み終わった後、テキストエディターを終了してください。



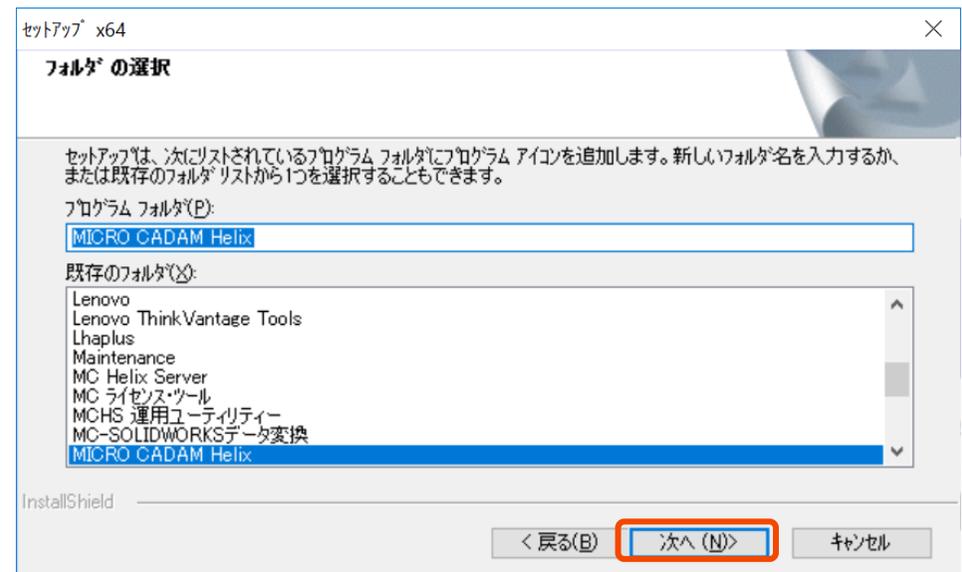
7. 導入プロダクトを指定します。
  - [ORPD Server] をチェックします。
8. [次へ(N)] をクリックします。



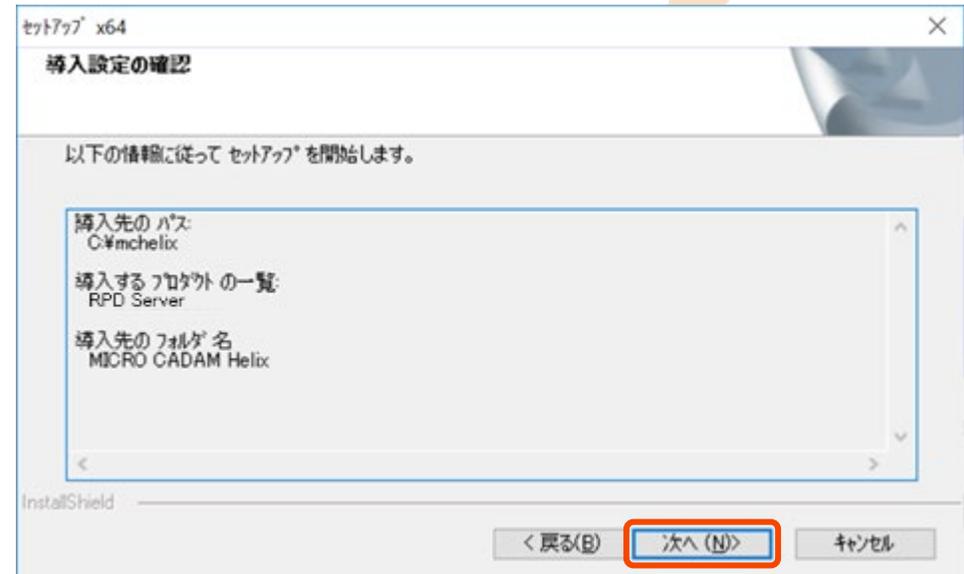
9. インストール先のフォルダを指定します。
  - ここでは、表示と同じフォルダーにインストールします。
10. [次へ(N)] をクリックします。



11. フォルダを選択または任意の名前を入力します。
  - ここではデフォルトのままとします。
12. [次へ(N)] をクリックします。



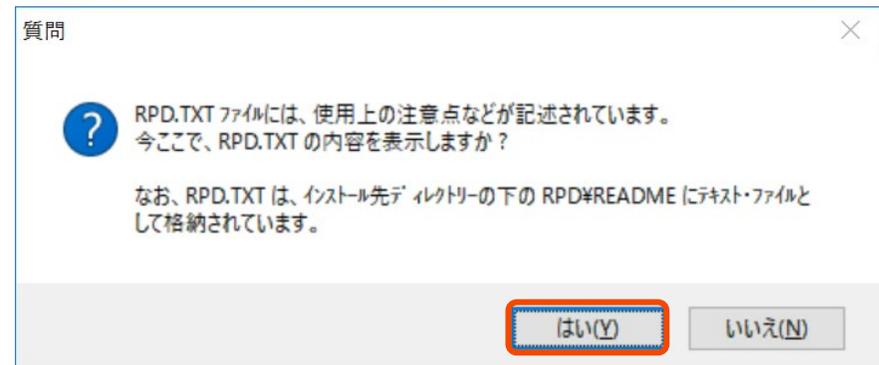
13.表示されている内容でよければ、[次へ(N)] をクリックします。



14.インストールが開始します。

15.モジュールのインストールが終わると、「質問」メッセージボックスが表示されます。[はい(Y)] をクリックして、RPD.TXTをお読みください。

16.読み終えた後、テキストエディターを終了してください。

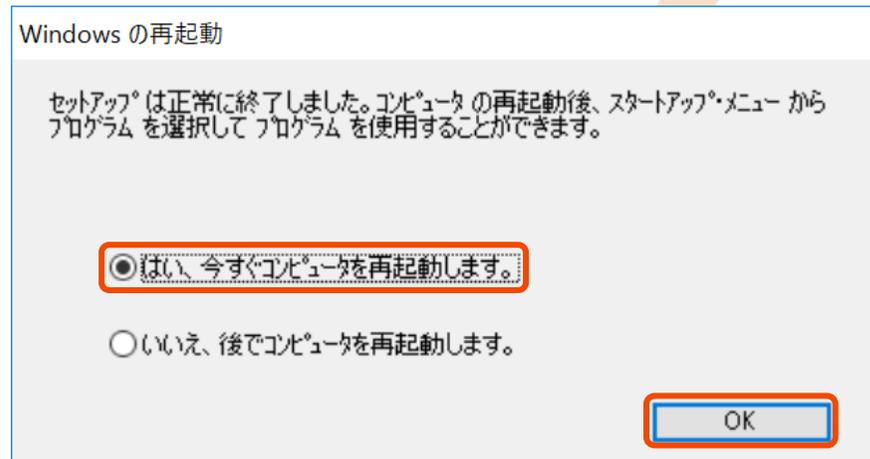


17.システムを再起動します。

- [○はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、 [OK] をクリックします。

18.システムが再起動されます。

- これでMICRO CADAM Helix RPD Serverのインストールは完了です。



(参考)

出力設定関連については、「MICRO CADAM Helix」プログラム・フォルダ内の『管理・運用解説書 (第四章 図面の出力)』及び「MC Helix Server」プログラム・フォルダ内の『プロット・サーバー解説書』『ラスター・プロッター・ドライバー解説書』をご参照ください。

## 【サーバー・マシンの環境設定】

### 1. MCPPS5.SYS (プロット・プリント・サーバー) の編集

- システム・ドライブの¥MCADAM¥MCPPS5.SYS をエディターで開きます。
- 右図赤枠内の3行冒頭の\*マークを削除して保存します。
- システム・ドライブ (ここではCドライブ) 直下に下記の3つのフォルダーを作成します。
  - PPSPEN1
  - PPSPEN2
  - PPSPEN3

### 2. MCRPDn.SYS (RPD環境設定) の編集

- ここでは省略します。

## 【クライアント・マシンの環境設定】

少なくとも下記の3つのファイルを編集する必要がありますが、ここでは省略します。

- MCVOD.TBL (仮想出力装置テーブル)
- ~.PRM (出力パラメータファイル)
- MCFILE5.SYS

```
MCPPS5.SYS - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
*****
*           Sample Parameter of Helix Plot Server V5           *
*****
*-----[ Printer Server ]-----*
*
*server=X:¥PPSPRT1¥*. OFI/mcprti/prt/PRINTER1
*server=X:¥PPSPRT2¥*. OFI/mcprtv/prt/PRINTER2
*server=X:¥PPSPRT3¥*. OFI/mcprtw/prt/PRINTER3
*
*-----[ Plotter Server ]-----*
*
server=C:¥PPSPEN1¥*. OFI/mcpen/pen/com1/9600
server=C:¥PPSPEN2¥*. OFI/mcpen/pen/com2/9600
server=C:¥PPSPEN3¥*. OFI/mcglf/pen/com3/9600
*
*-----[ Control Parameter ]-----*
*
```

詳細については前ページに記載のマニュアルをご参照ください。

## 1. マニュアル起動

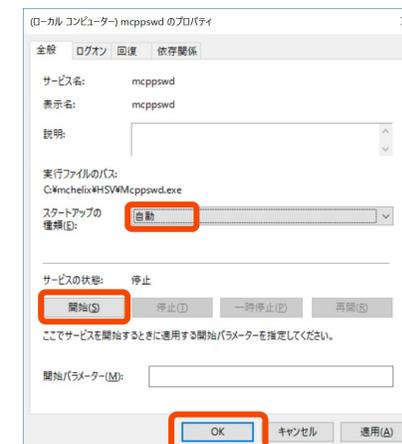
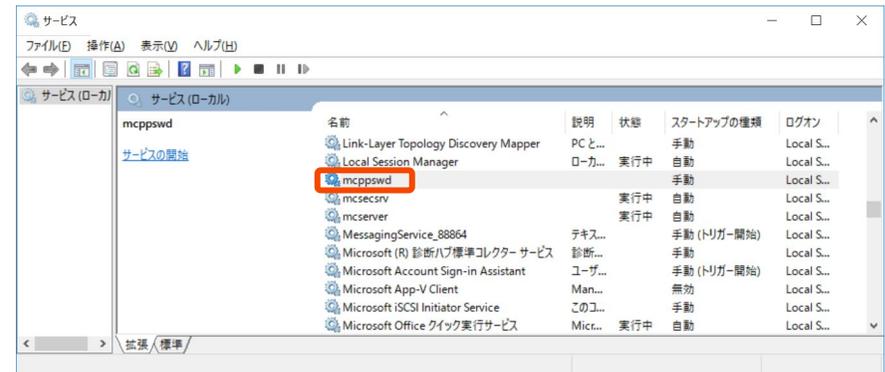
- 「MC Helix Server」プログラム・フォルダから、「プロット・サーバー」アイコンをクリックして起動します。
- プロット・サーバーが起動します。

## 2. 自動起動

下記の手順で、Windows OSのサービスで実行させることができます。

- Windows OSのスタート・メニュー
  - コントロール・パネル
  - 管理ツール
  - サービス
  - Mcppswdをダブル・クリック
  - 「自動」、「開始」
  - 「OK」
- これで自動起動が設定されました。

(プロット・サーバー・ダイアログの例)

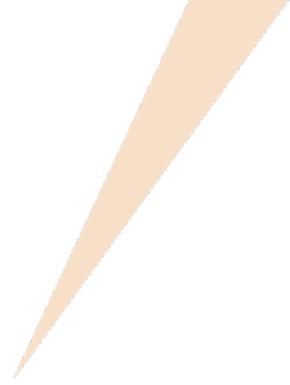


(参考)

マニュアル起動のプロット・サーバー (mcppsw.exe) ではダイアログが表示されますが、自動起動の場合、ダイアログは表示されません。

同様の表示が必要な場合は、下記の手順を実行してください。

- 「MC Helix Server」プログラム・フォルダから、「プロット・サーバー・管理ツール」アイコンをクリックします。



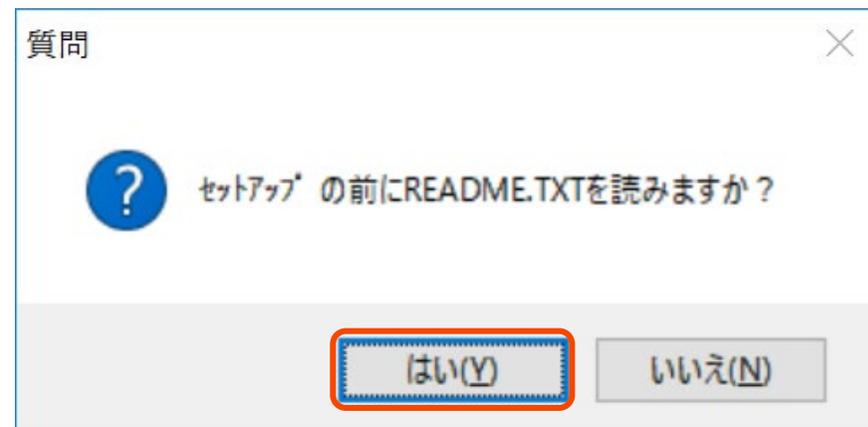
# 第三章 MICRO CADAM Helix DDM-LT インストール手順

# 【インストール（サーバー用）の実行】

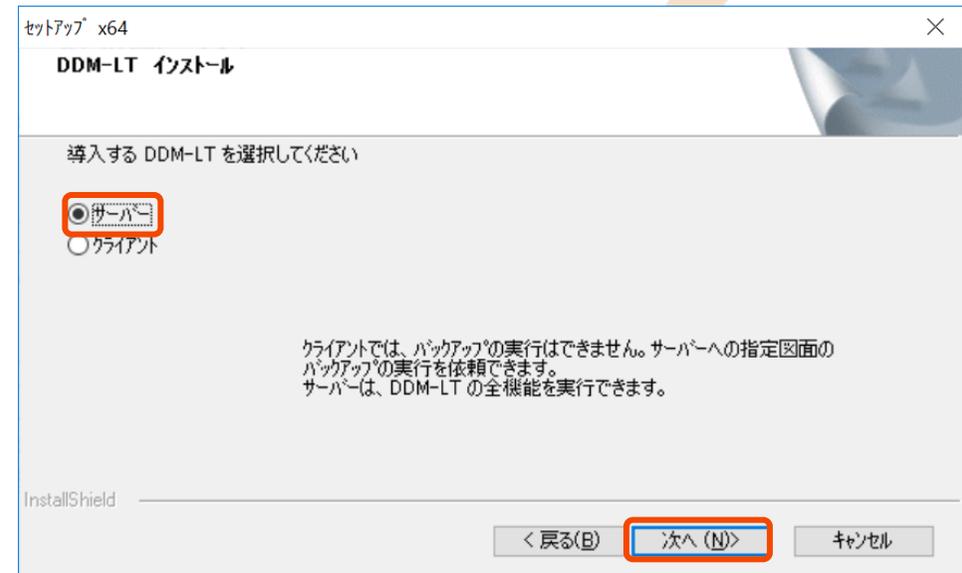
1. DVDの下記のフォルダーからsetup.exeを実行します。
  - Win64 → ddmlt → setup.exeをダブルクリック
2. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
3. [次へ(N)] をクリックします。



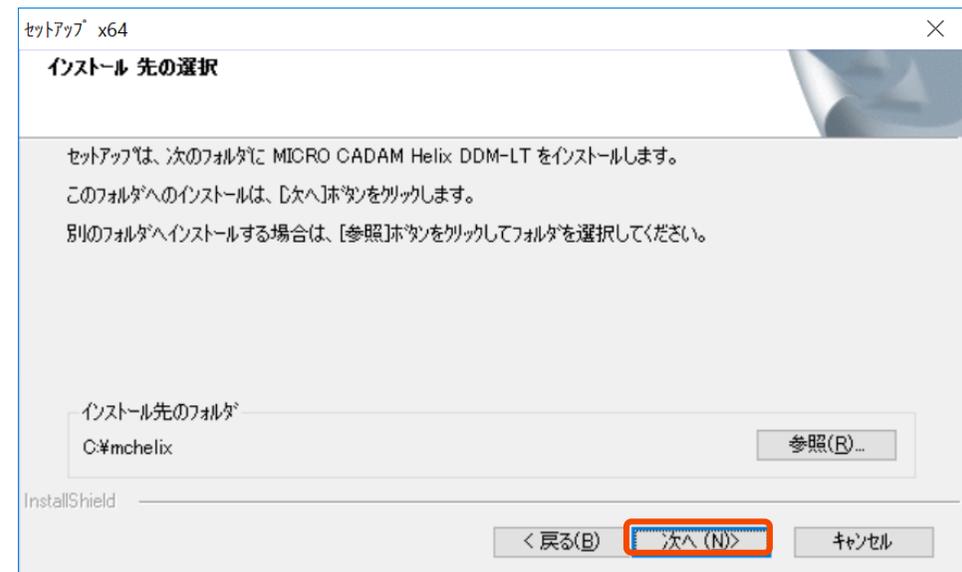
4. 「質問」メッセージボックスが表示されるので、[はい(Y)] をクリックしてREADMEをお読みください。
5. 読み終えた後、テキストエディターを終了してください。



6. 導入するモジュールを選択します。
  - ここでは、[○サーバー] をチェックします。
7. [次へ(N)] をクリックします。



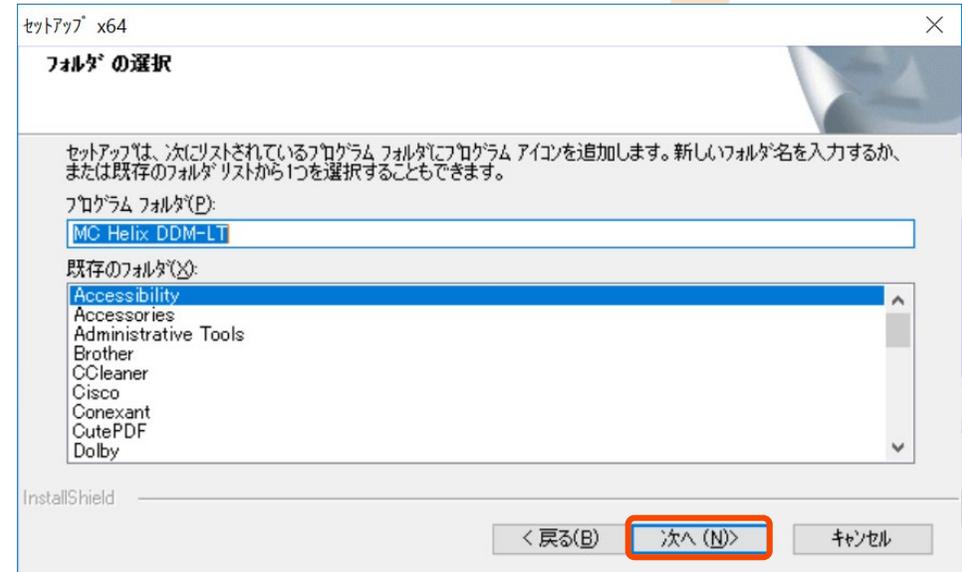
8. インストール先のフォルダを指定します。
  - ここでは、表示と同じフォルダーにインストールします。
9. [次へ(N)] をクリックします。



10.フォルダを選択または任意の名前を入力します。

➤ ここではデフォルトのままとします。

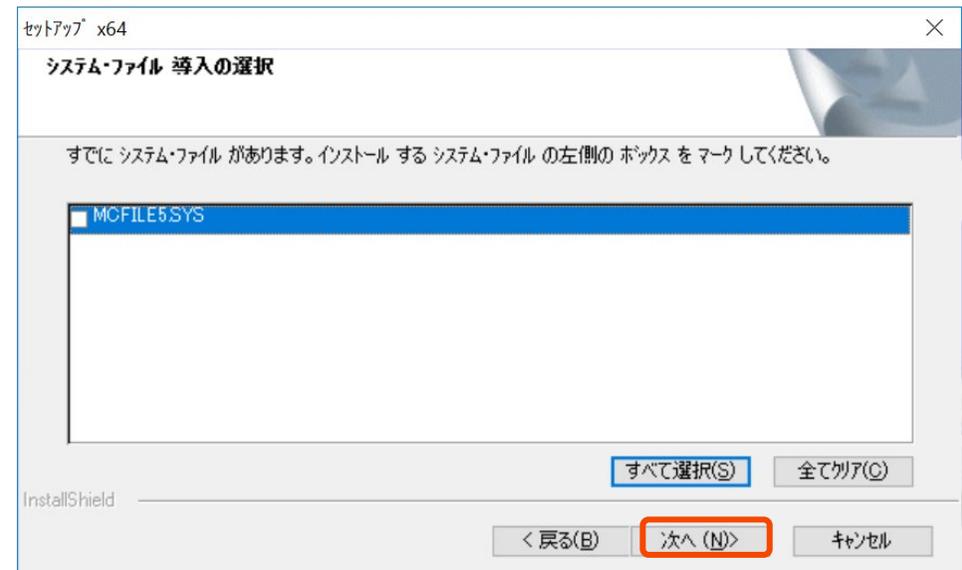
11. [次へ(N)] をクリックします。



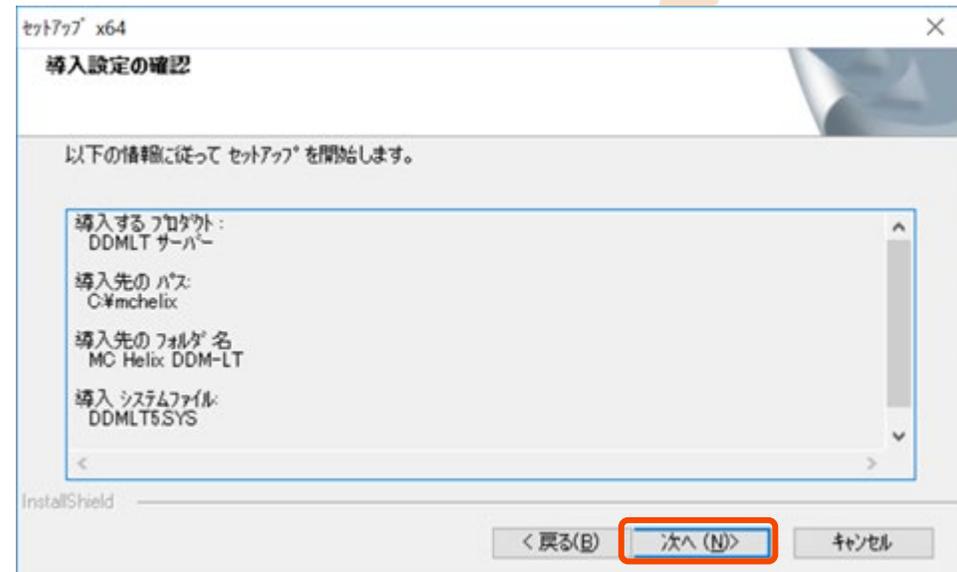
12.環境設定ファイルを選択します。

➤ Helix Serverはすでに導入されていますので、表示のままとします。

13. [次へ(N)] をクリックします。



14.表示されている内容でよければ、[次へ(N)] をクリックします。



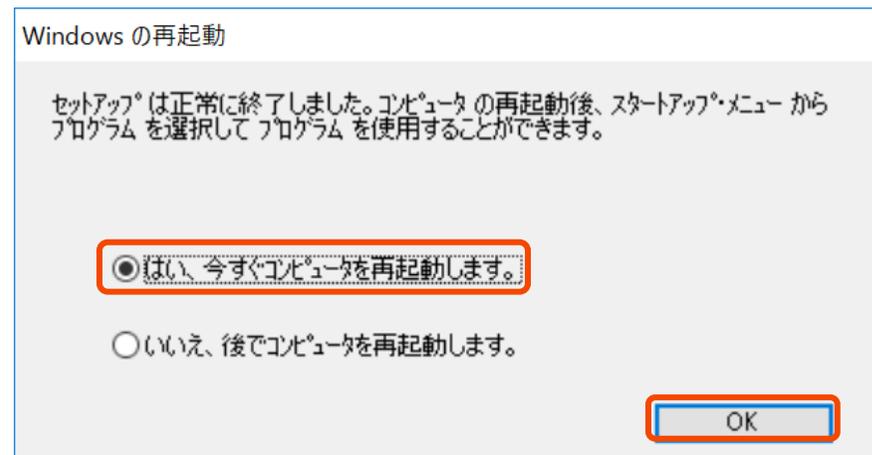
15.インストールが開始し、終了すると右図のダイアログ・ボックスが表示されます。

16.システムを再起動します。

- [○はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[OK] をクリックします。

17.システムが再起動されます。

- これで MICRO CADAM Helix DDM-LT のサーバー版のインストールは完了です。



(参考)

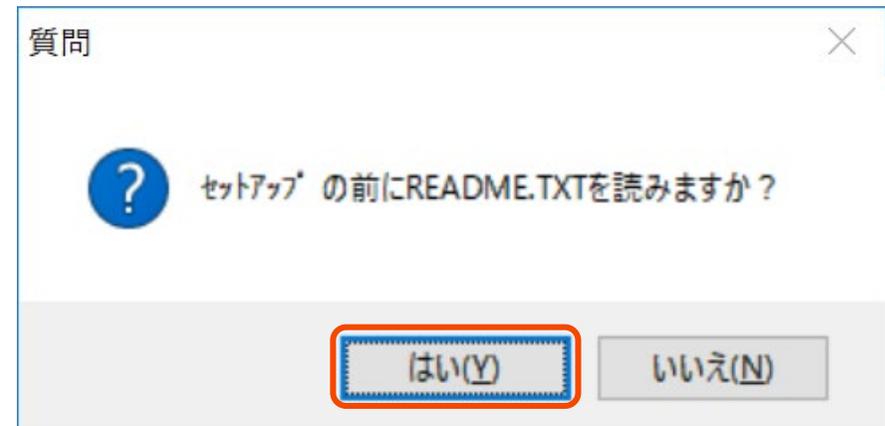
DDM-LTの操作及び環境設定については、「MC Helix DDM-LT」プログラム・フォルダ内の『図面バックアップ・モジュール解説書』をご参照ください。

# 【インストール（クライアント用）の実行】

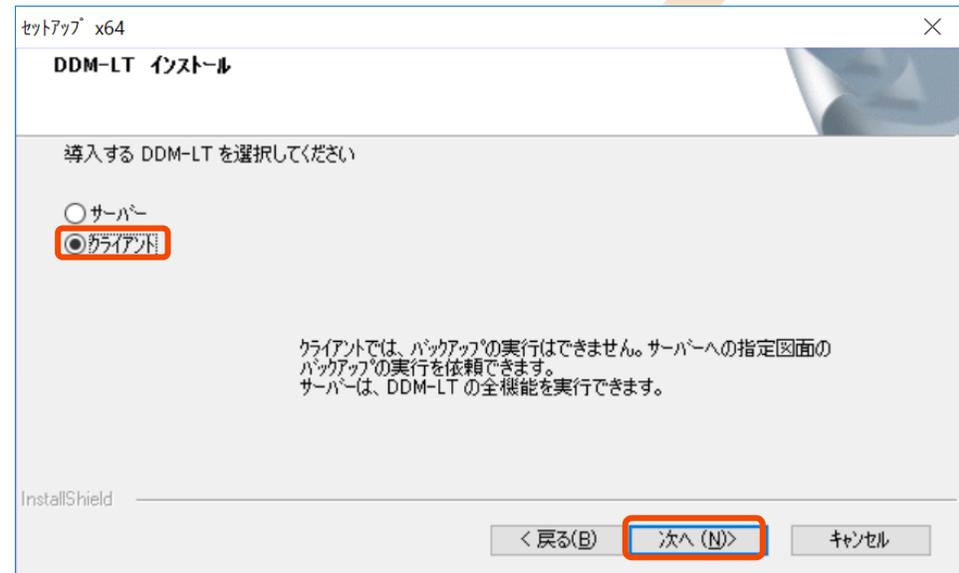
1. DVDの下記のフォルダーからsetup.exeを実行します。
  - Win64 → ddmlt → setup.exeをダブルクリック
2. 「セットアップ」ダイアログが起動します。
3. [次へ(N)] をクリックします。



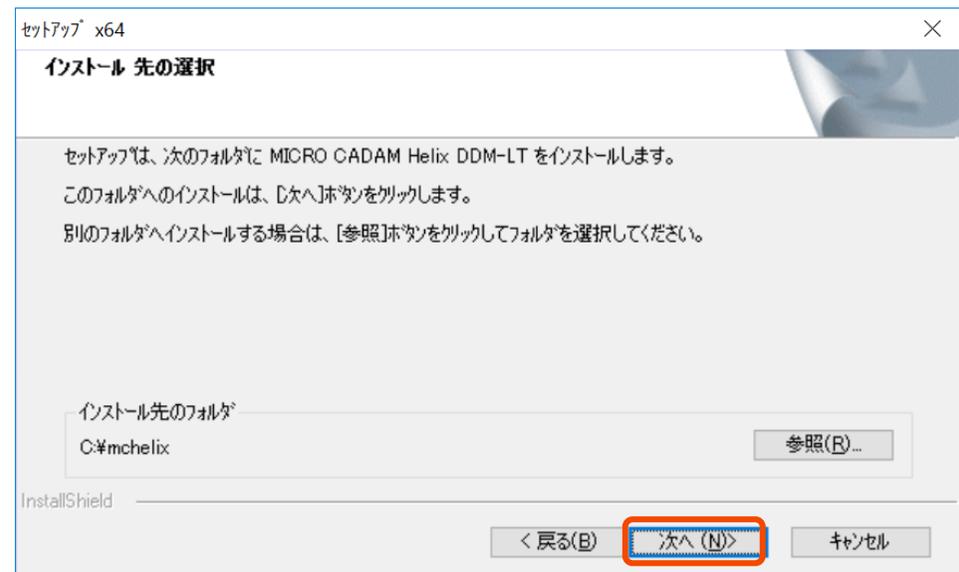
4. 「質問」メッセージボックスが表示されるので、[はい(Y)] をクリックしてREADMEをお読みください。
5. 読み終えた後、テキストエディターを終了してください。



6. 導入するモジュールを選択します。
  - ここでは、[○クライアント] をチェックします。
7. [次へ(N)] をクリックします。



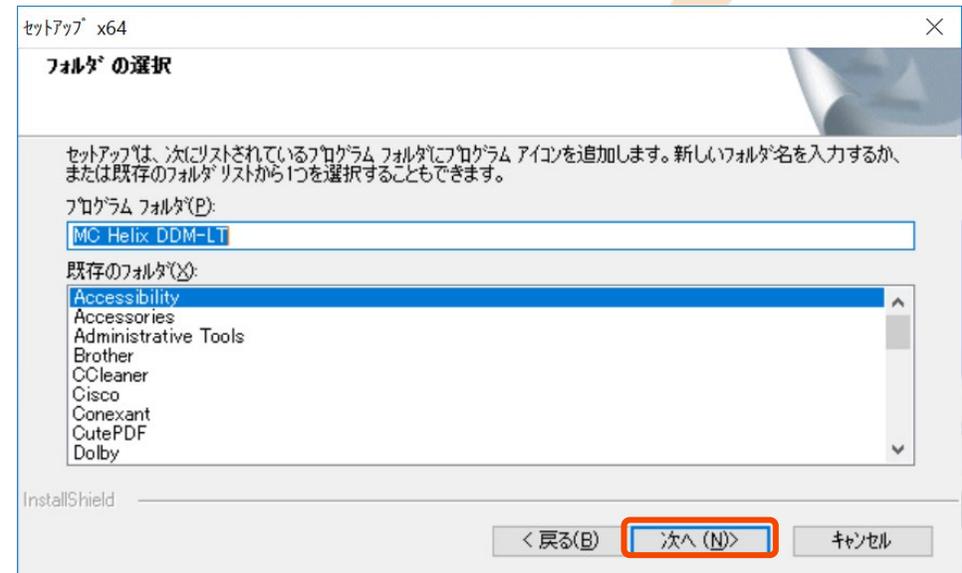
8. インストール先のフォルダを指定します。
  - ここでは、表示と同じフォルダーにインストールします。
9. [次へ(N)] をクリックします。



10.フォルダを選択または任意の名前を入力します。

➤ ここではデフォルトのままとします。

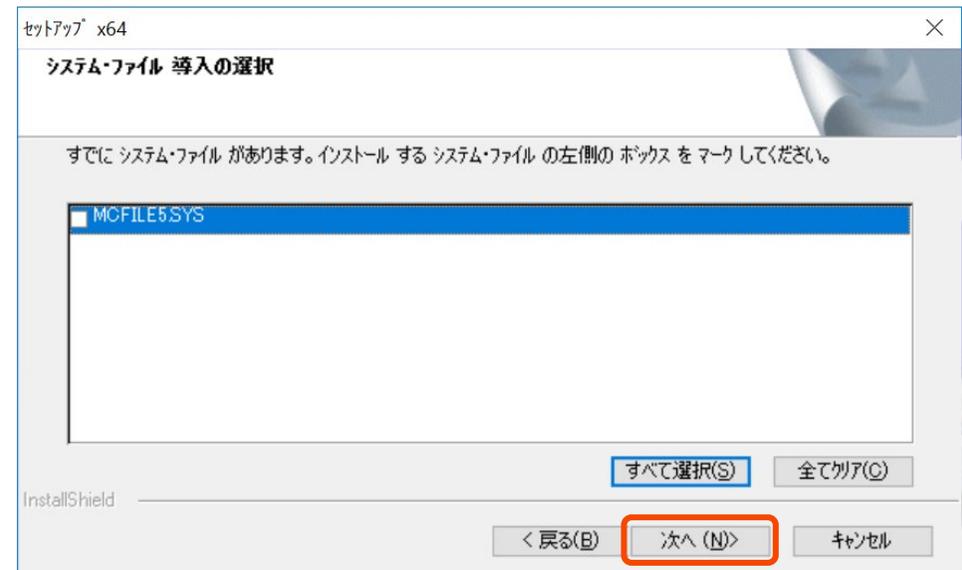
11. [次へ(N)] をクリックします。



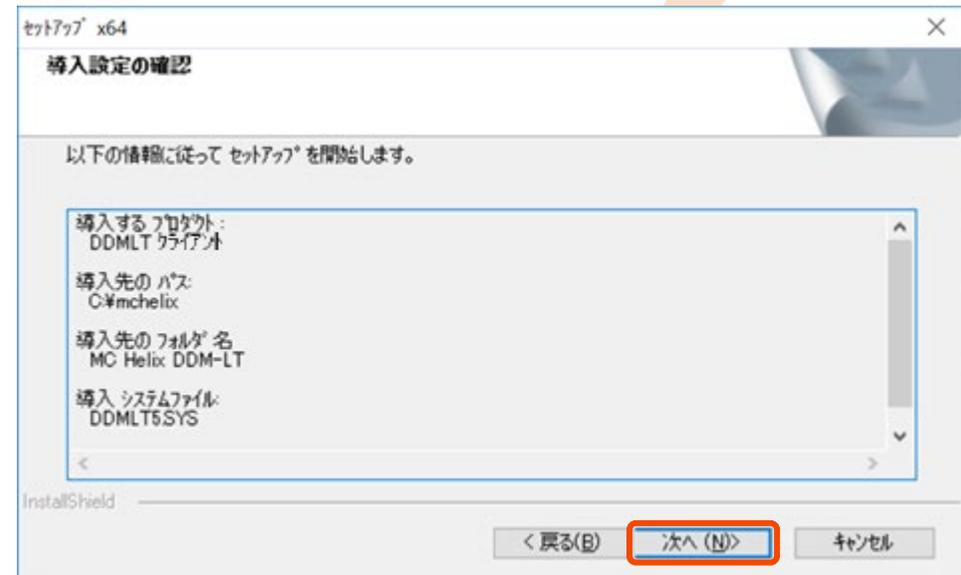
12.環境設定ファイルを選択します。

➤ Helix Serverはすでに導入されていますので、表示のままとします。

13. [次へ(N)] をクリックします。



14.表示されている内容でよければ、[次へ(N)] をクリックします。



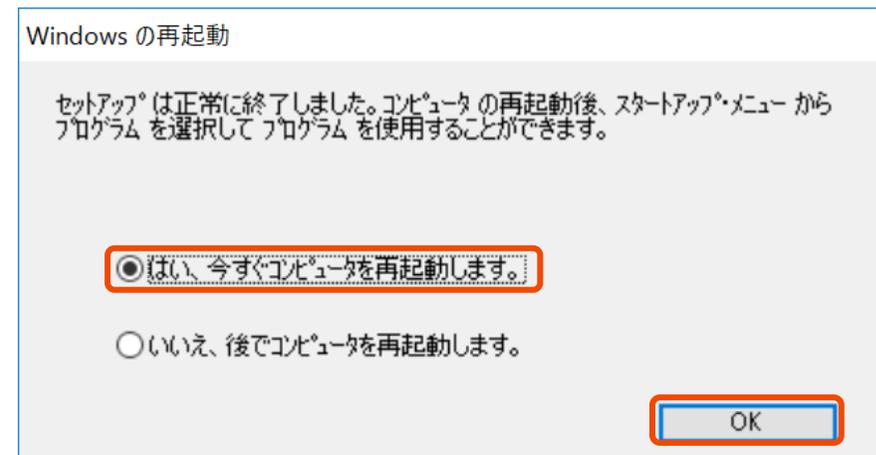
15.インストールが開始し、終了すると右図のダイアログ・ボックスが表示されます。

16.システムを再起動します。

- [○はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[OK] をクリックします。

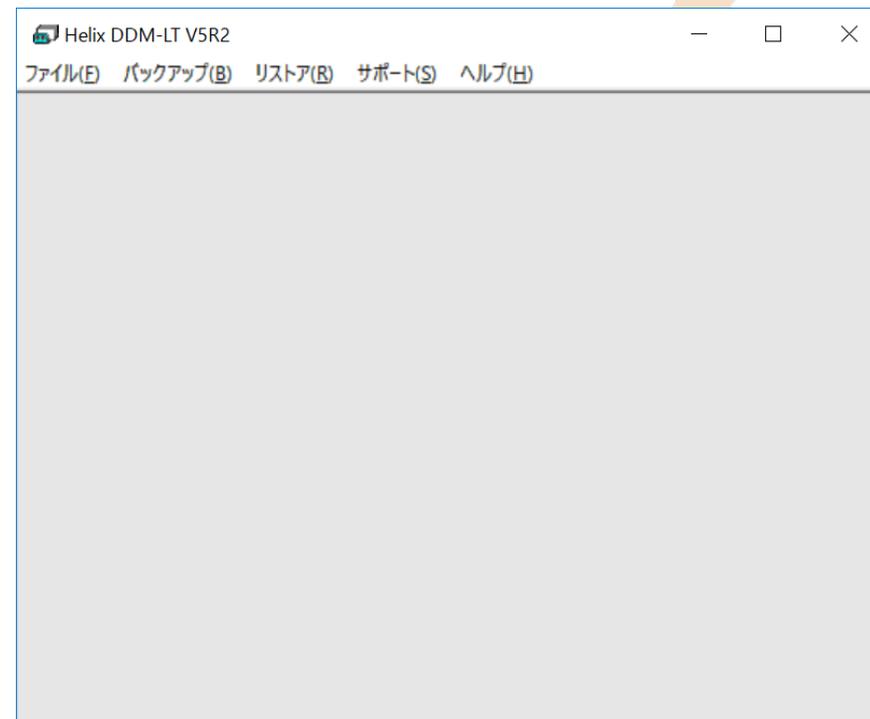
17.システムが再起動されます。

- これでMICRO CADAM Helix DDM-LTのクライアント版のインストールは完了です。



サーバー用、クライアント用ともに以下の操作で起動します。

1. 「MC Helix DDM-LT」プログラム・フォルダから、「DDM-LT」アイコンをクリックして起動します。
2. 右のダイアログが表示されます。



(参考)

DDM-LTの操作及び環境設定については、  
「MC Helix DDM-LT」プログラム・フォルダ内の  
『図面バックアップ・モジュール解説書』  
をご参照ください。



※当資料内の文章・画像・商標等（以下、「データ」）に関する著作権とその他の権利は、弊社または原作者、その他の権利者のものです。企業等が非営利目的で使用する場合、個人的な使用を目的とする場合、その他著作権法により認められている場合を除き、データは弊社、原作者、その他の権利者の許諾なく使用することはできません。

※データ等のご利用またはご利用できなかったことによって生じた損害については、弊社は一切の責任を負わないものとし、いかなる損害も補償をいたしません。

※掲載されている内容は2020年6月時点のものです。内容は、事前の予告なしに変更することがあります。

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。  
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。